



Avaya Aura[®] での Avaya J129 SIP IP 電話機の使用方法

リリース 4.1.9
第 1 版
2025 年 7 月

Notices

© 2026 Avaya LLC. All Rights Reserved.

You may, at your own risk, assemble a MyDocs collection solely for your own internal business purposes, which constitutes a modification to the original published version of the publications. Avaya shall not be responsible for any modifications, additions, or deletions to the original published version of publications. You agree to defend, indemnify and hold harmless Avaya, Avaya's agents, servants and employees against all claims, lawsuits, demands and judgments arising out of, or in connection with, your modifications, additions or deletions to the publications.

A single topic or a collection of topics may come from multiple Avaya publications. All of the content in your collection is subject to the legal notices and disclaimers in the publications from which you assembled the collection. For information on licenses and license types, trademarks, and regulatory statements, see the original publications from which you copied the topics in your collection.

Except where expressly stated by Avaya otherwise, no use should be made of materials provided by Avaya on this site. All content on this site and the publications provided by Avaya including the selection, arrangement and design of the content is owned by Avaya and/or its licensors and is protected by copyright and other intellectual property laws including the sui generis rights relating to the protection of databases. Avaya owns all right, title and interest to any modifications, additions or deletions to the content in the Avaya publications.

注意

本ドキュメントに記載する情報を作成時点で完全かつ正確なものにするために十分な注意を払っておりますが、Avaya はいかなる誤りに対しても責任を一切負いません。Avaya は個人や団体に対し、事前の許可なく本ドキュメントに記されている情報を変更・修正する権利を保有しています。

本ドキュメントにおける免責事項

「ドキュメント」とは、さまざまな媒体で公開している情報を意味します。なおこの情報には、製品のユーザーに通常提供している製品情報、サブスクリプションまたはサービス説明書、取扱説明書、および性能仕様書が含まれる場合があります。ドキュメントに販売用資料は含まれません。Avaya は、ドキュメントの初版に対するいかなる変更、追加、削除に対しても、それらが Avaya により、または明確に Avaya の代理として実行されたものでない限り、責任を負いません。エンドユーザーは、エンドユーザーの範囲内で本ドキュメントを修正、追加、削除したことによって生じる、またはそれに関連するいかなる申し立て、訴訟、請求、判決に対しても、Avaya、Avaya 代理人、従業員を免責することに同意するものとします。

リンクに関する免責事項

Avaya は、サイト内および Avaya が提供しているドキュメントにおいて参照されているリンク先の Web サイトのコンテンツや信頼性について一切責任を負いません。また、そのようなリンクで説明、提供された製品、サービス、情報の正確性は、必ずしも Avaya の保証の対象になるものではありません。Avaya は、これらのリンクが常に機能することを保証しておらず、リンク先のページの可用性を管理することはできません。

保証

Avaya は、Avaya のハードウェアおよびソフトウェアに対し、限定保証を提供しています。お手持ちの Avaya の契約書を参照して限定保証の条項をご確認ください。また、Avaya の標準保証規約、およびこの製品の保証期間中に Avaya カスタマーおよび関係者が利用可能なサポート情報は、Avaya サポート Web サイト (<https://support.avaya.com/helpcenter/getGenericDetails?detailId=C20091120112456651010>) の「[Warranty & Product Lifecycle]」リンク内)、または Avaya が指定する後継サイトに掲載されています。米国およびカナダ以外の Avaya 認定チャネルパートナーから本製品をご購入された場合は、保証の提供元は Avaya ではなく、この Avaya チャネルパートナーとなることに注意してください。

「[ホステッドサービス]」とは、Avaya または正規の Avaya チャネルパートナー（いずれか該当するもの）のいずれかからお客様が入手する Avaya ホステッドサービスサブスクリプションであって、該当のホステッドサービスに関するホステッド SAS またはその他のサービス説明書に詳述されるもののことです。ホステッドサービスサブスクリプションを購入する場合、お客様には前述の限定保証は適用されない場合がありますが、当該ホステッドサービスに付随するサポートサービスは、該当ホステッドサービスのサービス説明ドキュメントの詳述に沿って受けることができます。詳しくは、Avaya または Avaya チャネルパートナー（いずれか該当するもの）にお問い合わせください。

ホストサービス

以下はお客様が Avaya または Avaya チャネルパートナー（該当する場合）よりホステッドサービスサブスクリプションをご購入した場合にのみ適用されます。ホステッドサービス利用規約は Avaya Web サイト [HTTPS://SUPPORT.AVAYA.COM/LICENSEINFO](https://support.avaya.com/licenseinfo) の「Avaya Terms of Use for Hosted Services」(Avaya ホステッドサービス利用規約) または Avaya の指定する後継サイトに記載されており、Avaya ホステッドサービスにアクセスする、またはこれを利用するすべてのユーザーに適用されます。ホステッドサービスにアクセスする、またはこれを利用する、あるいは他者にアクセスまたは利用を許可することで、お客様は、お客様ご自身ならびにお客様が代理となってこれらの行為を行う団体（以下、状況に応じて適宜「お客様」および「エンドユーザー」）を代表し、利用規約に同意するものとみなされます。お客様が会社またはその他法人を代表して利用規約に同意した場合、お客様は当該団体を利用規約に従わせる権限を有することを表明したことになります。そのような権限をお持ちでない場合、または利用規約に同意することを希望しない場合、お客様はホステッドサービスにアクセスしたり当該サービスを利用したりすることはできず、他者にホステッドサービスへのアクセスまたは利用を許可することもできません。

ライセンス

グローバルソフトウェアライセンス条件（以下「ソフトウェアライセンス条件」）は、Web サイト (<https://www.avaya.com/en/legal-license-terms/>) または Avaya が指定する後継サイトでご覧いただけます。本ソフトウェアライセンス条件は、本ソフトウェアおよび/または関連ドキュメントをインストール、ダウンロード、および/または使用するすべての人に適用されます。本ソフトウェアをインストール、ダウンロード、もしくは使用すること、または他者にその権限を与えることで、エンドユーザーは、本ソフトウェアライセンス条件がエンドユーザーと Avaya との間に拘束力のある契約を形成することに同意するものとします。エンドユーザーが会社またはその他の法人を代表して本ソフトウェアライセンス条件を受諾する場合、エンドユーザーは、当該事業体を本ソフトウェアライセンス条件を遵守させる権限を自身が有していることを表明するものとします。

著作権

別段に明記される場合を除き、Avaya が提供する本サイトのコンテンツ、ドキュメント、ソフトウェア、ホステッドサービス、ハードウェアを使用することはできません。Avaya が提供する本サイトのコンテンツ、ドキュメント、ホステッドサービス、製品（コンテンツの選択、配置、デザインを含む）の所有権は Avaya またはそのライセンス供与者が保有しており、著作権法や他の知的財産権法（データベース保護に関する独自の権利を含む）によって保護されています。Avaya による明示的な許可がない限り、内容の全部または一部（コードやソフトウェアを含む）を、手法を問わず、修正、模写、複製、再版、アップロード、投稿、転送、配布することはできません。Avaya の書面による明示的な同意なく、これらを複製、転送、配布、保存、使用することは、適用法のもとで刑事上および民事上の犯罪になる場合があります。

仮想化

以下の規定は、製品が仮想マシンに配置される場合に適用されます。各製品には独自の注文コードとライセンスタイプがあります。別段の定めがある場合を除き、製品の各インスタンスについてそれぞれライセンスを取得し、発注する必要があります。例えば、エンドユーザーカスタマーまたは Avaya チャネルパートナーが同じ種類の製品のインスタンスを 2 つインストールする場合、その種類の製品を 2 つ注文する必要があります。

サードパーティコンポーネント

次の規定は、H.264 (AVC) コーデックが製品と共に配布される場合のみ適用されます。本製品は、AVC 特許ポートフォリオライセンスにもとづき、消費者の個人的利用またはその他報酬の受領が生じない用途のために、(i) AVC 標準に準拠してビデオをエンコードすること（以下、「AVC ビデオ」）、および/または (ii) 消費者が個人的行為としてエンコードした AVC ビデオまたは AVC ビデオ提供のライセンスを受けたビデオプロバイダから入手した AVC ビデオをデコードすることを目的として、ライセンス許諾されるものです。いかなるライセンスも供与または黙認されません。詳細については、MPEG LA, L.L.C.: [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com) を参照してください。

サービスプロバイダ

コーデックについて、Avaya のチャネルパートナーが H.264 または H.265 コーデックを使用する製品をホスティングしている場合、当該パートナーは、自己がすべての関連手数料およびロイヤリティに責任を負うことを認識し、同意します。H.264 (AVC) コーデックは、AVC 特許ポートフォリオライセンスにもとづき、消費者の個人的利用またはその他報酬の受領が生じない用途のために、(i) AVC 標準に準拠してビデオをエンコードすること（以下、「AVC ビデオ」）、および/または (ii) 消費者が個人的行為としてエンコードした AVC ビデオまたは AVC ビデオ提供のライセンスを受けたビデオプロバイダから入手した AVC ビデオをデコードすることを目的として、ライセンス許諾されるものです。いかなるライセンスも供与または黙認されません。H.264 (AVC) codec および H.265 (HEVC) codec の詳細については、MPEG LA, L.L.C. から入手することができます。 [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com) を参照してください。

法令遵守

お客様は、Avaya 製品が使用される国または法域で適用される法律および規制（通話記録、データプライバシー、知的財産、営業秘密、不正、演奏権に関する法律および規制を含みますが、これらに限定されません）を遵守する自己の責任を認識し、これに同意します。

不正利用を防止するために

「不正使用」とは、お客様の電話通信システムへの利用に際して正規の認可を受けていない当事者（例えば、貴社の従業員、エージェント、下請け業者、または貴社の代理人以外）が通信システムを不

正に使用することを意味します。お客様のシステムに関連した不正利用のリスクがあるということ、さらに不正利用が行われた場合、お客様の通信サービスに対して相当額の追加請求が生じる結果になりますのでご注意ください。

Avaya 通信不正利用防止ライン

通信不正利用の被害を受けている疑いがあり、技術的な支援またはサポートが必要な場合は、Avaya の営業担当者にお問い合わせください。

セキュリティ脆弱性

Avaya のセキュリティサポートポリシーに関する情報は、<https://support.avaya.com/security> の「Security Policies and Support」セクションに記載されています。

Avaya 製品の疑わしいセキュリティ脆弱性は、Avaya 製品セキュリティサポートフロー (<https://support.avaya.com/css/P8/documents/100161515>) に従って処理されます。

ドキュメントのダウンロード

ドキュメントの最新版については、Avaya サポート Web サイト (<https://support.avaya.com>) または Avaya が指定する後継サイトをご覧ください。

Avaya サポートの連絡先

製品またはクラウドサービスの案内や記事を確認したり、Avaya 製品またはクラウドサービスに関する問題を報告したりするには、Avaya サポート Web サイト (<https://support.avaya.com>) を参照してください。サポートの電話番号およびお問い合わせ先については、Avaya サポート Web サイト (<https://support.avaya.com>) または Avaya が指定する後継サイトにアクセスし、ページの下までスクロールして、「Avaya サポートに連絡」を選択してください。

Note

Using a cell, mobile, or GSM phone, or a two-way radio in close proximity to an Avaya IP telephone might cause interference.

Regulatory Statements

Australia Statements

Handset Magnets Statement :



危険

The handset receiver contains magnetic devices that can attract small metallic objects. Care should be taken to avoid personal injury.

Industry Canada (IC) Statements

RSS Standards Statement

This device complies with Industry Canada license-exempt RSS standard(s). Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause interference, and
2. This device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

1. L'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
2. L'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

Radio Transmitter Statement

Under Industry Canada regulations, this radio transmitter may only operate using an antenna of a type and maximum (or lesser) gain approved for the transmitter by Industry Canada. To reduce potential radio interference to other users, the antenna type and its gain should be so chosen that the equivalent isotropically radiated power (EIRP) is not more than that necessary for successful communication.

Conformément à la réglementation d'Industrie Canada, le présent émetteur radio peut fonctionner avec une antenne d'un type et d'un gain maximal (ou inférieur) approuvé pour l'émetteur par Industrie Canada. Dans le but de réduire les risques de brouillage radioélectrique à l'intention des autres utilisateurs, il faut choisir le type d'antenne et son gain de sorte que la puissance isotrope rayonnée équivalente ne dépasse pas l'intensité nécessaire à l'établissement d'une communication satisfaisante.

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Radiation Exposure Statement

This equipment complies with FCC & IC RSS102 radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This equipment should be installed and operated with minimum distance 20cm between the radiator & your body. This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements ISÉDétablies pour un environnement non contrôlé. Cet équipement doit être installé et utilisé avec un minimum de 20 cm de distance entre la source de rayonnement et votre corps.

This product meets the applicable Innovation, Science and Economic Development Canada technical specifications.

Japan Statements

Class B Statement

This is a Class B product based on the standard of the VCCI Council. If this is used near a radio or television receiver in a domestic environment, it may cause radio interference. Install and use the equipment according to the instruction manual.

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

Denan Power Cord Statement



危険

Please be careful of the following while installing the equipment:

- Please only use the connecting cables, power cord, and AC adapters shipped with the equipment or specified by Avaya to be used with the equipment. If you use any other equipment, it may cause failures, malfunctioning, or fire.
- Power cords shipped with this equipment must not be used with any other equipment. In case the above guidelines are not followed, it may lead to death or severe injury.



警告

本製品を安全にご使用頂くため、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブル、電源コード、ACアダプタなどの部品は、必ず製品に同梱されております添付品または指定品をご使用ください。添付品指定品以外の部品をご使用になると故障や動作不良、火災の原因となることがあります。
- 同梱されております付属の電源コードを他の機器には使用しないでください。上記注意事項を守らないと、死亡や大怪我など人身事故の原因となることがあります。

México Statement

The operation of this equipment is subject to the following two conditions:

1. It is possible that this equipment or device may not cause harmful interference, and
2. This equipment or device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation.

La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones:

1. Es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y
2. Este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada.

Brazil Statement

Este equipamento não tem direito à proteção contra interferência prejudicial e não pode causar interferência em sistemas devidamente autorizados

Power over Ethernet (PoE) Statement

This equipment must be connected to PoE networks without routing to the outside plant.

Taiwan Low Power Radio Waves Radiated Devices Statement

取得審驗證明之低功率射頻器材，非經核准，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。低功率射頻器材之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。前述合法通信，指依電信管理法規定作業之無線電通信。低功率射頻器材須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

U.S. Federal Communications Commission (FCC) Statements

Compliance Statement

The changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

To comply with the FCC RF exposure compliance requirements, this device and its antenna must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference, and
2. This device must accept any interference received, including interferences that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designated to provide reasonable protection against harmful interferences in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interferences to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Radiation Exposure Statement

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This equipment should be installed and operated with minimum distance of 8 in or 20 cm between the radiator and your body. This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

ENERGY STAR® compliance statement



As an ENERGY STAR partner, Avaya LLC has determined that this product meets the ENERGY STAR guidelines for energy efficiency. Information on the ENERGY STAR program can be found at www.energystar.gov. ENERGY STAR and the ENERGY STAR mark are registered trademarks owned by the U.S. Environmental Protection Agency.

EU Countries

This device when installed complies with the essential requirements and other relevant provisions of the EMC Directive 2014/30/EU, Safety LV Directive 2014/35/EU, and Radio Equipment Directive 2014/53/EU. A copy of the Declaration may be obtained from <https://support.avaya.com> or Avaya LLC, 350 Mt. Kemble Avenue, Morristown, NJ 07960 USA.

WiFi transmitter

- Frequencies for 2412-2472 MHz, transmit power: < 20 dBm
- Frequencies for 5180-5240 MHz, transmit power: < 20 dBm

General Safety Warning

- Use only the Avaya approved Limited Power Source power supplies specified for this product.
- Ensure that you:
 - Do not operate the device near water.
 - Do not use the device during a lightning storm.
 - Do not report a gas leak while in the vicinity of the leak.
 - For Accessory Power Supply in Avaya J100 シリーズ IP 電話機— Use Only Limited Power Supply Phihong Technology Co. Ltd. Model: PSAC12R-050, Output: 5VDC, 2.4A.

Trademarks

本サイトおよび Avaya 提供のドキュメント、ホステッドサービス、製品に表示されている商標、ロゴ、サービスマーク（以下、「マーク」）は、Avaya およびその関連会社、ライセンサー、サプライヤ、もしくはその他サードパーティの登録/未登録商標です。ユーザーは、Avaya またはマークを所有している可能性があるサードパーティの書面による事前の許可なく、これらのマークを使用することはできません。本サイト、ドキュメント、ホステッドサービス、および製品には、Avaya または該当するサードパーティの明確な書面による同意なく、マークのライセンスまたは権利を黙示、禁反言などにより付与する内容は一切含まれないものとします。

Avaya は、Avaya LLC の登録商標です。

Avaya 以外のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Device Usage Consent

By using the Avaya device, you agree that Avaya, from time to time, may collect network and device data from your device and may use such data in order to validate your eligibility to use the device.

目次

第 1 章: はじめに.....	8
目的.....	8
第 2 章: Avaya J129 IP 電話機 の概要.....	9
J129 IP 電話機の物理レイアウト.....	10
Avaya J129 IP 電話用接続ジャック.....	11
サポートされる機能.....	13
第 3 章: 基本的な操作.....	15
プロビジョニングサーバーの詳細を入力する.....	15
電話機の起動中にデバイスタイプを識別する.....	16
電話機にログインする.....	16
電話機からログアウトする.....	17
電話機をロックする.....	17
電話機のロックを解除する.....	18
ネットワークモードを設定する.....	18
ネットワーク構成を設定する.....	19
Wi-Fi ネットワークに接続する.....	20
第 4 章: ナビゲーション.....	22
メインメニュー.....	22
電話機のアイコン.....	22
第 5 章: 着信通話.....	25
通話に応答する.....	25
通話中に別の通話に応答する.....	26
不在着信を表示する.....	26
通話の不应答.....	27
保留中の通話を転送する.....	27
第 6 章: 発信通話.....	29
ダイヤルモードを使用して発信する.....	29
ダイヤルモードを使用しないで発信する.....	29
番号をリダイヤルする.....	29
スピードダイヤルを使用して通話を発信する.....	30
通話間を切り替える.....	30
ローカルの連絡先リストから発信する.....	30
企業データベースの連絡先リストから電話をかける.....	31
履歴から通話を開始する.....	31
緊急通話.....	32
緊急通話を発信する.....	32
国際通話を行う.....	32
第 7 章: 連絡先の管理.....	34
新しい連絡先を追加する.....	34
連絡先を編集する.....	34
ローカル連絡先の詳細を表示する.....	35
連絡先を検索する.....	35

連絡先を削除する.....	36
第 8 章: 通話履歴	37
通話履歴.....	37
通話履歴をオン/オフにする.....	38
履歴の詳細を表示する.....	38
履歴リストのコールレコードを管理する.....	39
履歴リストをクリアする.....	39
第 9 章: 会議通話	40
アクティブな通話に相手を追加する.....	40
保留中の相手を会議通話に追加する.....	40
会議通話を保留および再開する.....	41
保留なしの会議.....	41
保留なしの会議に参加者を追加する.....	41
第 10 章: 通話関連機能	43
通話をミュート/ミュート解除する.....	43
通話を保留にする/通話を再開する.....	43
保留ボタンを使用して保留中の通話を再開する.....	43
オフフック警告.....	44
第 11 章: 応答不可および不在転送	45
応答不可.....	45
応答不可を有効/無効にする.....	45
不在転送.....	45
通話を別の内線番号に転送する.....	46
携帯内線をアクティブにする.....	47
第 12 章: 拡張機能	48
機能画面にアクセスする.....	48
ボイスメールへの転送を有効にする.....	48
通話中の内線番号表示を防ぐ.....	49
インターコム.....	49
マルチデバイスアクセス.....	49
マルチデバイスアクセスアクセスを使用して通話と会議を処理する.....	50
マルチキャストページング.....	50
マルチキャストページを送信する.....	50
コールパーク/コールパーク解除.....	51
仲介転送の実行.....	52
ブラインド転送の実行.....	52
自動コールバックを設定する.....	52
共有コントロール.....	53
悪意のある通話を追跡する.....	54
ボイスメール.....	54
ボイスメールを聞く.....	54
第 13 章: 電話のカスタマイズ	55
電話.....	55
ダイヤルモードを設定する.....	55
通話時間を表示する.....	55
スピードダイヤルを割り当てる.....	56

スピードダイヤルの連絡先を置換/削除する.....	56
ミュート通知を起動する.....	56
着信ランプ表示.....	57
音声.....	58
着信通話の着信音を設定する.....	58
ボタンのクリック音をオン/オフにする.....	58
エラートーンをオン/オフにする.....	58
音声設定をオン/オフにする.....	59
ハンドセットプロファイルの設定.....	59
ハンドセットのサイドトーン.....	59
表示.....	60
表示画面のコントラストを調整する.....	60
表示言語を設定する.....	60
日付フォーマットを設定する.....	60
時刻フォーマットを設定する.....	61
タイムゾーンの を設定する.....	61
バックアップとリストア.....	62
バックアップとリストアの概要.....	62
第 14 章: 電話の更新	63
電話機を更新する.....	63
電話機の定期自動更新を確認する.....	63
第 15 章: メンテナンス	64
製品 ID を表示する.....	64
デバイスタイプを表示する.....	64
セカンダリプロビジョニングサーバーアドレスを表示する.....	64
サーバータイプを表示する.....	65
第 16 章: リソース	66
ドキュメント.....	66
Avaya サポート Web サイトでドキュメントを検索.....	68
Avaya ドキュメントセンター のナビゲーション.....	68
Avaya Mentor ビデオを表示する.....	69
サポート.....	70

第 1 章: はじめに

目的

このドキュメントでは、Avaya J129 IP 電話機 の機能と、この電話機の使用方法について説明します。

このドキュメントはエンドユーザーを対象にしています。

第 2 章: Avaya J129 IP 電話機 の概要

Avaya J129 IP 電話機 は基本的な業務で使用する SIP ベースの電話機です。この電話機は、1 回線の通話表示と 2 回線の通話アピアランス（発着信）に対応しています。

物理仕様

- 単一のコールアピアランス
- 128 x 32 ピクセルのグラフィカル LCD
- ソフトキー x3
- デュアル 10/100 ネットワークポート
- Power over Ethernet クラス 1 デバイス
- 磁気フックスイッチ

J129 IP 電話機の物理レイアウト



コールアウト番号	名前	説明
1	ビーコン LED	赤いランプの点滅はボイスメールまたは着信を示します。ハンズフリースピーカー機能を使用している通話では、ビーコン LED も点滅します。
2	電話画面	時間、ソフトキーラベル、メニュー項目などの情報が表示されます。 テキストが表示領域よりも長い場合は、テキストの後ろに 3 つのドットが表示されます。右矢印キーや左矢印キーを使用すると、テキストをスクロールできます。 電話機の表示の右側にスクロールバーまたは回線インジケータが表示される場合は、上下矢印キーを使用すると上下にスクロールできます。
3	ソフトキー	画面別のコマンドを表示します。
4	OK	左側のソフトキーに割り当てられている機能を選択します。
5	ナビゲーション矢印	メニューオプション間を移動します。 • [上] および [下] 方向キー：上下にスクロールします。 • [右] および [左] 方向キー：テキスト入力フィールドではカーソルを移動し、選択フィールドでは値を切り替えます。
6	電話	[電話] 画面が表示されます。
7	戻る	現在のアクションをキャンセルし、前のメニューに戻ります。
8	スピーカー	スピーカー通話を有効および無効にします。ハンドセットを持ち上げて、スピーカー通話を無効にすることもできます。
9	メインメニュー	メニューオプションとその他の電話機の設定を表示します。
10	保留	通話を保留にします。
11	音量	通話中にハンドセットまたはスピーカーの音量を増減します。 通話中ではない場合は、着信音の音量を調整できます。
12	ミュート	マイクをミュートおよびミュート解除します。
13	マイク	電話機のマイクです。J129D03A 以降のモデルのフロントパネルに配置されています。

Avaya J129 IP 電話用接続ジャック

次の図に Avaya J129 IP 電話機 の背面パネルにある接続ジャックを示します。この図は、どのデバイスをどのジャックに接続するかを概略的に示しています。



番号	名前	説明
1	5V DC ジャック	電源を接続します。 * 注 J129D03A 以降のモデルでのみ利用 できます。
2	ネットワークポート	イーサネットケーブルを接続します

次のページに続く...

番号	名前	説明
3	PC ポート	コンピューターを接続します。 * 注 Wi-Fi ネットワークの使用時は PC ポートは無効になります。
4	ハンドセットジャック	ハンドセットを接続します。
5	WLAN モジュールパネル	Wi-Fi モジュールを統合します。

* 注

Avaya J129 IP 電話機ではヘッドセットはサポートされていません。

サポートされる機能

[機能]	Avaya Aura®	IP Office
エンドツーエンドのセキュリティインジケータ	はい	いいえ
プライベート通話	はい	はい。短縮コードを使用するとサポートされます。
不在転送	はい	はい。短縮コードを使用するとサポートされます。
ユーザーがログインしていないときの緊急ダイヤル	はい	いいえ
会議通話	はい	はい。電話会議では 3 名の参加者がサポートされ、通話は電話機でホストされます。
仲介転送	はい	はい
ブラインド転送	はい	はい
連絡先または履歴を選択して通話を転送	はい	はい
連絡先	はい	はい。個人連絡先のみです。
プレゼンス	はい	いいえ
クイックログイン	はい	いいえ
Multiple Device Access (MDA) ¹	はい	いいえ
ボイスメール	はい	はい
コールパーク/コールパーク解除	はい	はい。短縮コードを使用するとサポートされます。

次のページに続く...

¹ MDA 機能は Avaya J129 IP 電話機 で制限付きでサポートされます。詳細については、「マルチデバイスアクセス」を参照してください。

発信側情報のブロック	はい	いいえ
携帯内線	はい	いいえ
悪意のある通話の追跡 (MCT)	はい	いいえ
応答不可	はい	はい。短縮コードを使用するとサポートされます。
自動コールバック	はい	いいえ
ダイヤルモード	はい	はい。手動モードのみサポートされます。
短縮ダイヤル	はい	いいえ

IP Office の詳細については、<https://support.avaya.com/> の IP Office ドキュメントを参照してください。

第 3 章: 基本的な操作

プロビジョニングサーバーの詳細を入力する

このタスクについて

電話が Device Enrollment Services、DHCP SSON、LLDP からプロビジョニングサーバー URL を取得できない場合、ユーザーはプロビジョニングサーバーの詳細を手動で入力するよう求められます。

前提条件

プロビジョニングサーバーのアドレスがあることを確認します。システム管理者にプロビジョニングサーバーのアドレスについて問い合わせてください。

手順

1. 電話機の初回起動時、[自動プロビジョニング] 画面に「オートプロビジョニングを再度有効にしてよろしいですか？」が表示されたら、次のいずれかを押します。

- [はい] : Device Enrollment Services サーバーに接続してプロビジョニングサーバーアドレスを取得し、DHCP のプロビジョニングサーバーアドレスを無視します。
- [いいえ] : DHCP サーバーからプロビジョニングサーバーアドレスを取得します。

タイムアウトの場合に、DHCP からプロビジョニングサーバーアドレスが発行されていない場合は、電話機で [はい] が選択されています。

Device Enrollment Services への接続が成功し、電話機がプロビジョニングサーバーアドレスを受信している場合、電話機は起動を続行し、プロビジョニングサーバーアドレスの入力は要求されません。

Device Enrollment Services への接続が成功し、電話機が Device Enrollment Services からプロビジョニングサーバーアドレスを受信していない場合は、電話で番号登録コードの入力が求められます。番号登録コードについては、管理者に問い合わせてください。有効な番号登録コードを入力すると、電話機は起動を続行し、プロビジョニングサーバーアドレスの入力は求められません。

番号登録コードがない場合は、[キャンセル] を押します。電話機は DHCP を使用して起動を続行します。

電話機に起動中というメッセージが表示されます。Device Enrollment Services または DHCP サーバーからプロビジョニングサーバーアドレスが発行されていない場合は、電話機に [プロビジョニングの詳細を入力] 画面が表示されます。

2. [プロビジョニングの詳細を入力] 画面で、次のいずれかを押します。
 - [設定] : プロビジョニングサーバーアドレスを入力します。
 - [無効にする] : プロビジョニングサーバーアドレスを要求しません。

- [キャンセル] : プロンプトをキャンセルし、[ログイン] 画面を表示します。
3. [設定] を押したら、[アドレス] フィールドにプロビジョニングサーバーのアドレスを入力します。

アドレスは英数字の URL です。例 : `http://myfileservers.com/j100/`。

ヒント

ドット記号 (.) を入力するには、英数字ソフトキーを押して ABC モードに切り替えます。

スラッシュ記号 (/) を入力するには、[/] ソフトキーを押します。

4. (オプション) [グループ] 番号を入力します。

システム管理者からグループ番号を取得します。指定できる値範囲は、0 ~ 999 です。値を入力しないと、電話ではデフォルト値の 0 が使用されます。

5. [保存] を押します。

電話が起動プロセスを続行し、プロビジョニングサーバーに接続します。

電話機の起動中にデバイスタイプを識別する

このタスクについて

Avaya J100 シリーズ IP 電話機 画面には、電話機の起動中にデバイスタイプが表示されます。この機能は、電話のソフトウェアバージョン 4.0.3 以降でのみサポートされます。

手順

1. 電話機のハードウェアを設定します。
2. イーサネットケーブルを電話機に差し込みます。

電話機の電源がオンになり、起動が始まります。

電話画面に開始中... Avaya SIP と表示されます。

電話機にログインする

このタスクについて

このタスクを実行して電話機にログインします。

前提条件

システム管理者からログインパスワードを取得します。

手順

1. [ログイン] を押します。
2. お使いの内線番号を入力します。

3. [入力]、[OK]、[#] のいずれかを押します。
4. 管理者から割り当てられたパスワードを入力します。
5. [入力]、[OK]、[#] のいずれかを押します。

電話機からログアウトする

このタスクについて

管理者がオフラインの通話ログ機能を有効にすると、不在着信が通話履歴に追加されます。オフラインの通話ログ機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。

手順

1. [メインメニュー] > [ログアウト] を押します。

注

IP Office で、[メインメニュー] > [管理] > [ログアウト] を押します。詳細については、<https://support.avaya.com/> の IP Office のドキュメントを参照してください。

2. 電話に確認のメッセージが表示されたら [ログアウト] を押します。

電話機をロックする

このタスクについて

ログイン中に電話をロックすると、不正使用を防止できます。電話をロックしてもログアウトされません。すべての着信通話を受信し、緊急電話番号に発信できます。

電話でシングルサインオン（SSO）機能がアクティブになっている場合、PIN を設定しないと電話をロックできません。

前提条件

[アプリケーション] メニューに [ロック] オプションが表示されない場合は、電話管理者にお問い合わせください。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [ロック] を選択します。

電話機のロックを解除する

このタスクについて

PIN またはパスワードを使用して電話のロックを解除できます。設定に応じて、電話に PIN またはパスワードを入力するフィールドが表示されます。

シングルサインオン (SSO) 機能がアクティブな場合、設定した PIN でのみ電話をロック解除できます。SSO が非アクティブの場合、設定した PIN、管理者定義済み PIN、SIP パスワードを使用して電話をロック解除できます。

SSO が非アクティブのときに電話管理者が PIN を設定していない場合、電話にパスワードを入力するフィールドが表示されます。SSO が非アクティブのときに電話管理者が PIN を設定するか、SSO がアクティブまたは非アクティブのときに PIN を設定すると、電話に PIN を入力するフィールドが表示されます。PIN の値は数字のみですが、パスワードの値は英数字も使用できます。

間違った PIN またはパスワードを入力すると、電話をロック解除できません。電話管理者は、不正な試行の最大回数を設定します。最大回数を超えた場合、電話は管理者が指定した期間、ユーザーの電話ロック解除操作を一時的にブロックします。

SSO 機能が非アクティブなときに PIN またはパスワードが思い出せない場合は、電話管理者に問い合わせてください。SSO 機能がアクティブなときに設定した PIN を思い出せない場合は、電話で管理者定義済みパスワードを入力するように求められます。

手順

1. [ロック解除] を押します。
2. 電話画面で、PIN またはパスワードを入力します。

間違った PIN を入力すると、無効な PIN というメッセージが表示されます。
3. (オプション) 設定した PIN を思い出せない場合は、次を実行します。
 - a. [忘れた場合] を押します。

電話に新しい PIN を設定するには再ログインする必要がありますというメッセージが表示されます。
 - b. [ログアウト] を押します。
 - c. 管理者定義済みユーザー名とパスワードを入力します。

ネットワークモードを設定する

このタスクについて

この手順を実行して、電話のネットワークモードを [イーサネット] または特定の [Wi-Fi] ネットワークに設定します。

前提条件

ネットワーク管理者からこのタスクを実行するためのアクセス権が付与されていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [ネットワーク] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [ネットワークモード] までスクロールします。
5. 次のオプションから [ネットワークモード] を選択します。
 - [イーサネット]：電話をイーサネットネットワークに接続します。
 - [Wi-Fi]：電話を Wi-Fi ネットワークに接続します。
6. 以下のいずれかを押します。
 - [切り替え]
 - [右] 矢印キー
 - [左] 矢印キー
7. [保存] を押します。
8. 電話で再起動が求められたら、[OK] を押すか [キャンセル] を押して前に戻ります。

関連リンク

[ネットワーク構成を設定する](#) (19 ページ)

[Wi-Fi ネットワークに接続する](#) (20 ページ)

ネットワーク構成を設定する

このタスクについて

この手順を使用して、ネットワーク設定を [自動] または [手動] に設定します。電話がイーサネットまたは特定の Wi-Fi ネットワークに接続するように設定されていない場合、この手順を実行する必要があります。

ネットワーク設定が [自動] の場合、電話を再起動すると、常に管理者が設定した事前設定済みのネットワークに接続されます。

ネットワーク設定が [手動] の場合、電話を再起動するたびに、管理者が設定した事前設定済みのネットワークに関係なく、「[ネットワークモードを設定する](#) (18 ページ)」または「[Wi-Fi ネットワークに接続する](#) (20 ページ)」により手動で設定したネットワークに接続されます。

* 注

接続ネットワークを変更した場合、電話では [ネットワーク設定] が自動的に [手動] に設定されます。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [ネットワーク] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [ネットワーク設定] までスクロールします。

[ネットワーク設定] に、次の 2 つのオプションが表示されます。

- [自動]：自動的にネットワークに接続します。
- [手動]：手動でネットワークに接続します。

5. 以下のいずれかを押します。

- [切り替え]
- [右] 矢印キー
- [左] 矢印キー

6. 以下のいずれかを押します。

- [保存]
- [OK]

★ 注

[ネットワーク設定] を [自動] から [手動] に切り替えた場合に、電話を再起動させずに [手動] モードのままにするには、[保存] を押します。

[ネットワーク設定] を [手動] から [自動] に切り替える場合は、[保存] を押して次のいずれかを行います。

- 接続ネットワークが、管理者が設定した事前設定済みのネットワークと同じ場合、電話は再起動せずに [自動] モードのままになります。
- 接続ネットワークが、管理者が設定した事前設定済みのネットワークと異なる場合は、事前設定済みのネットワークに接続する前に、電話で再起動するように求められます。

関連リンク

[ネットワークモードを設定する](#) (18 ページ)

Wi-Fi ネットワークに接続する

このタスクについて

この手順を実行して、電話を特定の Wi-Fi ネットワークに接続します。

前提条件

- ネットワーク管理者からこのタスクを実行するためのアクセス権が付与されていることを確認します。
- ネットワークモードとして Wi-Fi を選択します。
- ネットワークモードを設定する場合は、SSID を書き留めます。これは、電話が接続を試みる Wi-Fi ネットワークの名前です。
- ネットワーク管理者が Wi-Fi の非表示機能を有効にしていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [ネットワーク] までスクロールして、[選択] を押します。

4. 利用可能な Wi-Fi ネットワークのリストにアクセスするには、[Wi-Fi ネットワーク] までスクロールして、[選択] を押します。

電話に非表示の Wi-Fi ネットワークを含む、利用可能なすべての Wi-Fi ネットワークが表示されます。

5. 接続する [Wi-Fi ネットワーク] までスクロールしてから [接続] を押すと接続プロセスが開始されます。

これで非表示の Wi-Fi ネットワークに接続できます。

6. 電話機を再起動するには [OK] を押します。

7. セキュリティが WEP または WPA/WPA2 PSK の場合は、[パスワード] に、Wi-Fi ネットワークのパスワードを入力します。

Wi-Fi ネットワークのセキュリティのタイプに応じて、必要な資格情報を取得します。詳細についてはネットワーク管理者に連絡します。

8. セキュリティが 802.1x EAP の場合は、次のように入力します。

- [ID] : ユーザー ID または管理者から提供された共有ユーザー ID。
- [匿名 ID] : 空白のままにするか、管理者から提供された共有の匿名 ID を使用します。
- [パスワード] : パスワードまたは管理者から提供された共有パスワード。

結果

正常に認証されると、電話が自動的に再起動して接続が完了します。

関連リンク

[ネットワークモードを設定する](#) (18 ページ)

第 4 章: ナビゲーション

メインメニュー

次の表では各 [メインメニュー] オプションについて説明します。

名前	説明
[履歴]	通話履歴を表示します。
[連絡先]	連絡先を追加、編集、または削除します。
[ボイスメール]	ボイスメッセージを確認します。
[機能]	管理者が有効にした機能にアクセスします。
[設定]	電話機設定、オーディオ設定、ディスプレイ設定などを変更します。
[ネットワーク情報]	ネットワーク設定を確認します。
[ロック]	電話機をロックします。
[ログアウト]	電話からのサインオフのほか、自分の設定を保護したり、他のユーザーがログインできるようにしたりします。
[管理]	管理設定にアクセスします。
[IP Deskphone の詳細]	電話機のソフトウェアバージョンとデフォルトのデバイスタイプを表示します。

電話機のアイコン

次の表に、Avaya J129 IP 電話機で使用するアイコンを示します。

アイコン	説明
■	最初のコールアピランスの回線インジケータ
□	2 番目のコールアピランスの回線インジケータ
📞	10 件を超える不在着信履歴
↑	発信履歴
✕	不在着信履歴

次のページに続く...

アイコン	説明
	着信履歴
	発信履歴 (MDA)
	不在着信
	確認
	MDA がアクティブ
	新規通話のセットアップ
	ボイスメール
	チェックボックスがオフ
	チェックボックスがオン
	アクティブな会議
	保留中の会議
	コントラスト
	携帯内線
	フェイルオーバー
	ラジオボタンがオフ
	ラジオボタンがオン
	機能が利用不可
	不在転送
	ハンドセット
	保留
	電話のロック
	着信音オン
	着信音オフ

次のページに続く...

アイコン	説明
	スピーカー
	応答不可
	ミュート
	発信者 ID 検証が完了しました。
	発信者 ID 検証失敗

第 5 章: 着信通話

電話へのインバウンドコールは、着信通話です。着信通話では、電話で着信音が鳴り着信通知が表示されます。電話画面に着信通話のアイコンまたは発信者番号/名前が表示されます。設定に応じて、電話画面に組織名や部門名などの着信通話の詳細が表示されます。電話画面をスクロールすると、すべての詳細を表示できます。電話管理者が設定を行うことで、発信者 ID の詳細を表示できます。発信者 ID の詳細を有効にするには、管理者にお問い合わせください。

管理者が着信通話のブロック機能を有効にしている場合、電話がロックされている状態では着信通話に応答することはできません。

電話のローカルの連絡先に LDAP ディレクトリから LDAP 連絡先を保存すると、電話にローカルの連絡先から発信者名が表示されます。

複数の通話を同時に受信すると、電話画面の次のページに 2 番目の通話の詳細が表示されます。

発信者 ID 検証

着信プライベート通話またはブリッジ通話を受信すると、電話に検証ステータス情報が表示され、発信者 ID のなりすましを防止できます。着信通話の発信者 ID 検証ステータスを表示して、発信元を信頼できるかどうかを確認できます。電話で着信ポップアップ機能がアクティブになっている場合、ポップアップに発信者 ID 検証ステータスを表示できます。[通話の詳細] 画面と CA/BCA ラインにもステータスを表示できます。検証ステータスは次のとおりです。

- 合格：発信者表示が正常に検証されました。
- 失敗：発信者表示が失敗しました。

電話管理者が発信者 ID 検証ステータスを表示する設定を行います。

関連リンク

[通話に応答する](#) (25 ページ)

[通話中に別の通話に応答する](#) (26 ページ)

[不在着信を表示する](#) (26 ページ)

[通話の不应答](#) (27 ページ)

[保留中の通話を転送する](#) (27 ページ)

通話に応答する

このタスクについて

この手順を使用して、通話に応答します。通話に応答すると、電話機は次を行います。

- 音声着信通知を作成します。
- 発信者の名前または番号を表示します。

手順

以下のいずれかを行います。

- ハンドセットを持ち上げます。
- [スピーカー] を押します。
- [OK] ボタンを押します。
- [応答] ソフトキーを押します。

関連リンク

[着信通話](#) (25 ページ)

[通話を保留にする/通話を再開する](#) (43 ページ)

通話中に別の通話に応答する

このタスクについて

コールアピランスが応答可能な場合にのみ、2 番目のコールアピランスで通話を受信できます。

手順

以下のいずれかを押します。

- [応答] ソフトキー
- [OK ボタン]

最初の通話が保留になり、2 番目の通話に接続されます。

関連リンク

[着信通話](#) (25 ページ)

不在着信を表示する

このタスクについて

通話に応答しなかった場合、電話画面に不在着信アイコンが表示されます。[履歴] 画面に不在着信に関する次の詳細を表示できます。

- 不在着信アイコン
- 発信者名（発信者が連絡先に追加されている場合）
- 不在着信理由
- 内線番号
- 不在着信の日時

★ 注

ボイスメール機能が有効な場合、電話は未応答の通話をボイスメール番号にリダイレクトします。

手順

1. [電話] 画面で、次のいずれかを押します。
 - [メインメニュー] > [履歴]
 - [履歴]
2. 目的の不在着信までスクロールします。
3. [詳細] を押します。

不在着信の詳細を表示できます。

関連リンク

[着信通話](#) (25 ページ)

通話の不応答

このタスクについて

通話に応答したくない、または別の通話が進行中の場合は、新しい着信通話を無視できます。通話を無視すると、電話の呼び出しアラートは停止しますが、呼び出し時間内にナビゲーションクラスタを使用して通話を選択し、この通話に応答することもできます。

手順

[着信] 画面で、次のいずれかを押します。

- [不応答] ソフトキー
- [戻る]

音声アラートをオフにして前の画面に戻ります。

関連リンク

[着信通話](#) (25 ページ)

保留中の通話を転送する

このタスクについて

この手順を使用して、保留中の通話を発信通話や着信通話に転送します。

前提条件

[保留] を押すと進行中の通話が保留になります。

手順

1. 次のいずれかのソフトキーを押します。
 - [新規通話]：新しい通話を発信します。
 - [再開]：通話を再開します
2. 転送先が通話に応答する場合、または転送元が通話に応答する場合は、[転送] ソフトキーを押します。
3. 電話機に確認のメッセージが表示されたら [転送] ソフトキーをもう一度押します。

関連リンク

[着信通話](#) (25 ページ)

第 6 章: 発信通話

ダイヤルモードを使用して発信する

このタスクについて

この手順を使用すると、ハンドセットを持ち上げることなく発信したり、[スピーカー] を押して発信したりできます。

前提条件

電話機のダイヤルモードを [自動] また [手動] に設定します。

- ダイヤルモードが [自動] に設定されている場合は、必要な桁数の番号をダイヤルします。
インターディジットタイマーがタイムアウトになると、電話機が通話を開始します。
- ダイヤルモードが [手動] に設定されている場合は、番号をダイヤルし、[発信] ソフトキーまたは [OK] ボタンを押します。

関連リンク

[ダイヤルモードを設定する](#) (55 ページ)

ダイヤルモードを使用しないで発信する

手順

1. ハンドセットを持ち上げるか、[スピーカー] を押します。
2. ダイヤルパッドの番号を押します。

インターディジットタイマーがタイムアウトになると、電話機が通話を開始します。

番号をリダイヤルする

このタスクについて

この手順を使用して番号を再ダイヤルします。発信通話履歴を削除すると、最後にダイヤルした番号も削除されます。

手順

[電話] で、次のいずれかを押します。

- [リダイヤル]
- [リダイヤル] ソフトキーが最初のソフトキーの場合、[OK] を押します。

スピードダイヤルを使用して通話を発信する

前提条件

スピードダイヤル番号が連絡先に割り当てられていることを確認します。

手順

電話をかける相手に割り当てられたダイヤルパッドキーを長押しします。

関連リンク

[スピードダイヤルを割り当てる](#) (56 ページ)

通話間を切り替える

このタスクについて

この手順を使用して、通話の保留中に特定の通話に参加する場合に通話間を切り替えます。

手順

1. [切り替え] を押します。
現在の通話が保留になり、もう一方の通話が再開されます。
2. [切り替え] をもう一度押すと、最初の通話に戻ります。

ローカルの連絡先リストから発信する

このタスクについて

この手順を使用して、ローカルの連絡先リストから発信します。Open SIP 環境では、ローカルの連絡先はネットワークファイルサーバーと同期されます。

手順

1. [メインメニュー] > [連絡先] の順に押します。
電話機に「ダイヤルパッドを使用して検索」というメッセージが表示されます。
2. ダイヤルパッドで、発信先の名前の文字に対応する番号を押します。
たとえば、Smith という名前を検索する場合、764 を押します。

3. 次のいずれかを押して、選択した番号への通話を開始します。

- [通話]
- [OK]

企業データベースの連絡先リストから電話をかける

このタスクについて

管理者の設定によっては、他のリモート連絡先リストまたはディレクトリから連絡先を検索して呼び出すことができます。

手順

1. [電話] 画面で、次のいずれかを押します。
 - [メインメニュー] > [連絡先] > [検索] .
 - [連絡先] > [検索] .
2. [検索] を押します。
3. ダイヤルパッドで、発信する相手の名前の番号を入力します。
たとえば、Smith という名前を検索する場合、76484 を押します。
4. もう一度 [検索] を押します。
企業データベースに保存されている連絡先が表示されます。
5. [発信] を押します。

履歴から通話を開始する

このタスクについて

この手順を使用して、通話履歴から通話を開始します。システム管理者が電話機に緊急通話を設定している場合は、[緊急] ソフトキーが [履歴] ソフトキーに置き換わります。

手順

1. [電話] 画面で、次のいずれかを押します。
 - [メインメニュー] > [履歴]
2. [上] および [下矢印] キーを使用して、呼び出す連絡先を選択します。
3. (オプション) [詳細] を押します。
4. [発信] を押します。

緊急通話

緊急通話は、あらかじめ設定された緊急サービス番号に接続するために使用します。緊急サービス電話番号は、管理者により設定されます。

次の画面から緊急通話を開始できます。

- [ログイン] 画面
- [電話] 画面
- [ロック] 画面

IP Office 環境では、電話にログインしている場合にのみ緊急通話を開始できます。

システム管理者が緊急通話をお使いの電話機に設定している場合は、[電話] 画面に [緊急] ソフトキーが表示されます。

それ以外の場合は、[履歴] ソフトキーの代わりに [緊急] ソフトキーが置き換わります。

[緊急] ソフトキーを使用すると、システム管理者によって最優先順位に設定された番号にのみダイヤルできます。または、次の場合にダイヤルパッドを使用して緊急通話番号にダイヤルすることもできます。

- [緊急] ソフトキーを使用できない場合。
- [緊急] ソフトキーは使用可能だが、システム管理者によって設定されていない緊急電話番号にダイヤルする場合。

IP Office 環境では、[緊急] ソフトキーは使用できません。ダイヤルパッドを使用して緊急電話番号にダイヤルする必要があります。

IP Office の詳細については、<https://support.avaya.com/> の IP Office ドキュメントを参照してください。

緊急通話を発信する

前提条件

[緊急] ソフトキーが管理者によって割り当てられていることを確認します。

手順

以下のいずれかを行います。

- [電話] 画面で、[緊急] ソフトキーを押して、電話に確認メッセージが表示されたら、[緊急] をもう一度押します。
- ダイヤルパッドを使用して緊急電話番号をダイヤルします。

国際通話を行う

手順

1. [0] キーを長押しして、プラス記号 (+) を入力します。

2. 電話をかけたい番号をダイヤルします。

第 7 章: 連絡先の管理

新しい連絡先を追加する

このタスクについて

この手順を使用して、電話機に連絡先を追加します。最大 250 件の連絡先を保存できます。

手順

1. [連絡先] リストを開くには、次のいずれかの操作を行います。
 - [連絡先] を押します。
 - [メインメニュー] を押して、[連絡先] を選択します。
2. 以下のいずれかを行います。
 - [連絡先] リストが空の場合は、[新規] を押します。
 - [連絡先] リストが空でない場合は、[次へ] > [連絡先] を押します。
3. ダイヤルパッドを使用して、連絡先の氏名を対応するフィールドに入力します。
 - 入力する文字または数字に該当するテンキーを押します。
 - 文字が同じキーにある場合、次の文字を入力する前に一時停止してください。
 - スペースを入力するには、[0] を押します。
 - 残りの文字または数字を入力します。
 - 記号を入力するには、[次へ] > [記号] を押します。ナビゲーション矢印を使って入力する記号を強調表示し、[挿入] を押します。
 - 最後の文字を削除するには、[バックスペース] ソフトキーを押します。
4. 内線番号を入力します。

連絡先の内線番号には、大文字小文字、0 ～ 9 の数字、コンマ (,)、プラス (+)、ドット (.) などの特殊記号を使用できます。
5. [保存] を押します。

連絡先を編集する

このタスクについて

[連絡先] リストの連絡先を編集します。

手順

1. 以下のいずれかを行います。
 - [連絡先] を押します。
 - [メインメニュー] > [連絡先] を押します。
2. 連絡先を選択します。
3. [次へ] を押します。
4. [詳細] > [編集] を押します。
5. 編集するフィールドまでスクロールします。
6. ダイアルパッドとソフトキーを使用して、連絡先情報を変更します。
7. [保存] を押します。

ローカル連絡先の詳細を表示する

手順

1. 以下のいずれかを行います。
 - [連絡先] を押します。
 - [メインメニュー] > [連絡先] を押します。
2. [次へ] を押します。
3. [詳細] を押します。
 - 連絡先に電話をかけるには、[通話] を押します。
 - 連絡先を編集するには、[編集] を押します。
 - 連絡先を削除するには、[削除] を押します。
 - その他のオプションを表示するには、[次へ] を押します。

連絡先を検索する

このタスクについて

この手順を使用して、ローカルの連絡先リストや企業ディレクトリから連絡先を検索します。ただし、IP Office 環境では、ローカルの連絡先リストからのみ連絡先を検索できます。

IP Office の詳細については、<https://support.avaya.com/> の IP Office ドキュメントを参照してください。

手順

1. ローカルの連絡先から連絡先を検索するには、次を行います。
 - a. [メインメニュー] > [連絡先] を押します。

電話機に「ダイヤルパッドを使用して検索」というメッセージが表示されます。

- b. ダイヤルパッドで、発信先の名前の文字に対応する番号を押します。たとえば、Smith という名前を検索する場合、764 を押します。

2. 企業ディレクトリから連絡先を検索するには、次を行います。

- a. [電話] 画面で [連絡先] > [検索] を押すか、[メインメニュー] > [連絡先] > [検索] を押します。
- b. ダイヤルパッドを使用して、名前を入力します。
- c. [検索] を押します。

ローカルの連絡先に連絡先を追加するには、[+連絡先] を押します。

連絡先を削除する

このタスクについて

ローカルの連絡先は削除できます。

手順

1. 以下のいずれかを行います。
 - [連絡先] を押します。
 - [メインメニュー] > [連絡先] を押します。
2. 削除する連絡先を選択します。
3. [次へ] > [詳細] > [削除] を押します。
4. 以下のいずれかを押します。
 - [削除] : 連絡先を削除します。
 - [キャンセル] : 操作をキャンセルします。

第 8 章: 通話履歴

通話履歴

通話ログには、電話の直近 100 件の通話のリストが表示されます。通話ログリストはタイムスタンプで並べ替えられ、リストの一番上に最新の通話が表示されます。通話ログの各エントリには次の情報が含まれます。

- 通話タイプアイコン
- 発信者名
- 発信者の番号
- 通話タイムスタンプ
- 通話持続時間

通話エントリを記録するには、内線番号の通話ログオプションを有効にする必要があります。通話ログの集計オプションを有効にすると、各日の通話の集計を表示できます。電話は発信者からの各通話タイプの通話を集計し、[履歴] 画面に一覧表示します。

[不在転送] または [不在転送ビジー] を不在着信として電話機に記録させたくない場合は、管理者に連絡して必要な設定を行います。プライマリ内線番号ユーザーが電話からログアウトしている場合、電話は不在転送または話中転送を不在着信として記録します。

不在着信理由

不在着信の場合、電話には、コールサーバーが提供する不在着信理由が表示されます。電話でオフライン通話ログが有効になっている場合、不在着信理由の不在転送ステータスが失われます。Avaya J100 シリーズ IP 電話機 電話機で次の機能のいずれかがアクティブになっている場合、次に通話が切断された理由が表示されます：

[機能]	[不在着信理由]
不在転送	すべての通話を転送
話中転送	他の通話で話中
すべての回線が話中	すべてのコールピアランスが話中
同時接続通話数の制限 (LNCC)	着信制限
カバレッジ	応答なし

Avaya J100 シリーズ IP 電話機 では、ソフトウェアバージョン 4.0.3 以降から通話ログファイルのコンテンツが暗号化されます。

電話のソフトウェアを 4.0.3 以前のバージョンにダウングレードすると、通話ログの詳細を保持できません。通話ログの詳細を保持するには、管理者に連絡して、必要な設定を有効にします。

通話履歴をオン/オフにする

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [電話設定] を押します。
2. [下矢印] キーを使って [履歴を記録] 画面に移動します。
3. 通話履歴機能をオンまたはオフにするには、以下のいずれかを行います。
 - [切り替え] を選択します。
 - [左矢印] / [右矢印] キーを使用します。
4. [保存] を押します。

履歴の詳細を表示する

このタスクについて

[履歴] 画面では、通話タイプと発信者 ID の表示設定に応じて、各通話の詳細を表示できます。以下にいくつかの例を示します。

- 着信アイコン
- 発信アイコン
- 不在着信アイコン
- 名前
- 内線番号
- 時間
- 日付
- 通話時間

★ 注

[通話時間] は不在着信には使用できません。

手順

1. [電話] 画面で、次のいずれかを押します。
 - [メインメニュー] > [履歴]
 - [履歴]
2. (オプション) [履歴] 画面で、[右] と [左] 矢印キーを使用して、必要な通話タイプまでスクロールします。
3. 表示する通話を選択します。
4. [詳細] を押します。

選択した通話の詳細が表示されます。

履歴リストのコールレコードを管理する

手順

1. [電話] 画面で、次のいずれかを押します。
 - [メインメニュー] > [履歴]
2. 追加または削除する番号を選択します。
3. [詳細] を選択します。
4. 次のいずれかを選択します。
 - [+連絡先]：通話履歴メニューからコールレコードを連絡先リストに追加します。
 - [削除]：通話履歴からコールレコードを削除します。

履歴リストをクリアする

このタスクについて

この手順を使用して、[履歴] リストのすべての通話エントリを削除します。

前提条件

[履歴] リストに少なくとも 1 つのコールレコードがあることを確認します。

手順

1. [電話] 画面で、次のいずれかを押します。
 - [メインメニュー] > [履歴]
 - [履歴]
2. [全クリア] を押します。
3. 電話機に確認のメッセージが表示されたら、次のいずれかを選択します。
 - [すべてクリア]：すべてのエントリを削除します。
 - [キャンセル]：キャンセルして前のメニューに戻ります。

第 9 章: 会議通話

アクティブな通話に相手を追加する

このタスクについて

参加者をアクティブな通話に追加して、会議通話を設定できます。

前提条件

通話を開始します。

手順

1. 通話中に、[電話] 画面で [次へ] > [会議] を押します。
対応中の通話が保留されます。
2. 参加者に発信するには、次のいずれかの操作を行います。
 - ダイヤルパッドを使用して内線番号をダイヤルします。
 - [連絡先] リストまたは [履歴] リストから相手に電話をかけます。
3. 3 番目の参加者が通話に応答したら、[参加] ソフトキーを押します。
4. 他の参加者を追加する場合は、[追加] を押して、手順 2 と 3 を繰り返します。

保留中の相手を会議通話に追加する

このタスクについて

このタスクを使用して保留にした相手を会議通話に追加することができます。

手順

1. 通話中に [保留] を押します。
2. 以下のいずれかを行います。
 - 新しく発信するには、[新規通話] を押して、2 人目の内線番号をダイヤルします。
 - 着信に応答するには、[応答] を押します。
 - 通話間で切り替えるには、[切替] を押します。
3. 2 人目が通話に応答したら、[会議] > [結合] ソフトキーを押します。
保留中の相手が会議通話に追加されます。

会議通話を保留および再開する

このタスクについて

この手順を使用して、会議参加者を保留し、その他の参加者の会議通話を続行します。

手順

1. 会議通話中に「保留」ボタンを押します。
2. 以下のいずれかを行います。
 - 「再開」を押します。
 - コールアピランスを選択して、会議通話を再開します。

保留なしの会議

保留なしの会議機能を使用すると、進行中の会話を続行しながら、通話に参加者を追加できます。保留なしの会議機能を使用すると、通話参加者を保留にすることなく会議通話を作成できます。

たとえば、管理された「保留なしの会議」ボタンを押して内線番号をダイヤルすると、通話に応答した参加者が保留なしの会議に追加されます。

「保留なしの会議」ボタンを使用すると、その他の参加者を保留なしの会議に追加できます。

管理者はシステムマネージャで 1 件の番号のみを事前設定できます。「保留なしの会議」ボタンを押すと、参加者が通話に応答したときに事前設定した番号に通話が接続され、保留なしの会議に参加します。

参加者が設定されたタイムアウト時間内に通話に応答しない場合、Avaya J100 シリーズ IP 電話機では電話画面に該当するメッセージが表示されます。

関連リンク

[保留なしの会議に参加者を追加する](#) (41 ページ)

保留なしの会議に参加者を追加する

このタスクについて

会話を中断なく続行しながら、通話に参加者を追加できます。保留なしの会議通話には最大 6 名の参加者を追加できます。

前提条件

管理者が保留なしの会議機能と機能ターゲットの選択を有効にしていることを確認します。
通話中であることを確認します。

手順

1. 通話中に、電話画面で「メインメニュー」>「機能」を押します。
2. 「保留なしの会議」を押します。
「転送先を選択」ダイアログボックスが表示されます。

3. 次のいずれかの方法を使用して、ユーザーを保留なしの会議に追加できます。

- 内線番号が管理者によって事前に設定されている場合は、[選択] を押します。
- 内線番号が事前に設定されていない場合は、[ダイヤル] ソフトキーを押してダイヤルパッドを使用して手動で内線番号を入力し、[OK] を押します。
- [連絡先]、[履歴]、[電話] ボタンを押して、リストから番号を選択します。
- [ブラウザ] ソフトキーを押して、ブラウザアプリケーションから転送先番号を選択します。
- [自動ダイヤル]、[話中表示]、[チーム] ラインキーを押して、転送先の番号を選択します。

保留なしの会議機能が有効になります。

4. 既存の保留なしの会議にその他の参加者を追加するには、手順 2 と 3 を繰り返します。

*** 注**

[キャンセル] ソフトキーを押すと保留なしの会議を終了できます。

5. 手動でダイヤルする場合は、[Enter] または [OK] を押して機能を有効にします。

関連リンク

[保留なしの会議](#) (41 ページ)

[マルチデバイスアクセスアクセスを使用して通話と会議を処理する](#) (50 ページ)

第 10 章: 通話関連機能

通話をミュート/ミュート解除する

このタスクについて

通話中に、ミュートボタンを使用すると、電話のすべての音声通信を切断できます。この機能を有効にすると、電話の「ミュート」ボタンが点灯し、発信者の声は聞くことができますが、発信者にはあなたの声は聞こえません。しばらくミュート機能がアクティブになっていると、

会話の際に音声のミュートアラート通知が再生され、電話画面にミュートアイコン  が点滅します。ミュートをアクティブにして会話を続けると、最初は音声と着信ランプ表示で通知され、その後、通話のミュートを解除するまで着信ランプ表示のみが表示されます。

手順

1. 通話中にミュートするには、「ミュート」ボタンを押します。
電話の「ミュート」ボタンがすぐに点灯します。
2. 通話をミュート解除するときは、もう一度「ミュート」ボタンを押します。

通話を保留にする/通話を再開する

このタスクについて

通話中に、通話を保留できます。通話を保留にすると、自分と発信者の両方が通話でお互いの声を聞くことができなくなります。通話の保留中、他の連絡先に発信できます。複数の通話が保留されている場合、上下の矢印キーを使用して必要な通話までスクロールして、保留中の通話に戻ることができます。

手順

1. アクティブな通話を保留にするには、「保留」ソフトキーを押します。
2. 保留された通話を再開するには、「再開」ソフトキーを押すか、保留された通話のラインキーを押します。

保留ボタンを使用して保留中の通話を再開する

このタスクについて

保留ボタンを使用すると、保留中の通話を再開できます。

前提条件

電話機でアクティブな保留通話があることを確認します。

手順

保留中の通話を再開するには〔保留〕ボタンを押します。

複数の保留通話があり、電話画面で保留ボタンを押すと、次の操作が実行されます。

- 保留中の通話が強調表示されている場合は、強調表示されている保留中の通話を再開する
- 強調表示されている保留中の通話がない場合は、最後に保留された通話を再開する

電話画面ではない場合は、保留ボタンを押すと次のようになります。

- 最後に保留された通話を再開する
- 電話画面にリダイレクトし、ユーザー入力メニューのその他の操作がキャンセルされる

オフフック警告

システム管理者がこの機能を有効にすると、ユーザー側でアクションが行われずに電話が一定時間オフフック状態になっている場合に、監視対象電話にアラートを送信できます。電話は次の場合にアラートを送信します。

- 一定時間ハンドセットがオフフック状態で番号もダイヤルされず、失敗したセッションが終了されていない場合。
- ハンドセットがオフフックにされ、不完全または無効な電話番号や内線番号がダイヤルされて、一定時間が経過しても失敗したセッションが終了されていない場合。

電話からオフフックアラート送信先内線番号にダイヤルすると、通話を選択して、監視対象との双方向通話パスを使用できます。

第 11 章: 応答不可および不在転送

応答不可

応答不可機能を使用すると、すべてのダイレクト着信通話の音声通知を受信しないようにできます。電話は、システム管理者が設定した定義済みカバレッジ番号にこれらの着信通話をリダイレクトします。この機能は離席とも呼ばれています。必要に応じて、電話でこの機能に「離席」という名前を付けるよう、管理者に連絡してください。

関連リンク

[応答不可を有効/無効にする](#) (45 ページ)

応答不可を有効/無効にする

このタスクについて

応答不可機能をアクティブにして、通話を受信したときに電話が鳴らないようにすることができます。電話は、システム管理者が設定した定義済みカバレッジ番号にダイレクト着信通話をリダイレクトします。

IP Office 環境では、この機能は短縮コードダイヤルを使用してサポートされます。短縮コードのリストについては、システム管理者にお問い合わせください。

前提条件

システム管理者は内線の機能を有効にする必要があります。

手順

1. [メインメニュー] > [機能] を押します。
2. [下矢印] キーを使って [応答不可] 画面に移動します。
3. [応答不可] を選択すると、機能をアクティブまたは非アクティブにできます。

関連リンク

[応答不可](#) (45 ページ)

不在転送

不在転送機能を使用すると、通話に応答できない場合に着信を別の番号に転送できます。たとえば、通話の受信時に、電話で不在転送機能がアクティブな場合、不在転送番号にこの通話が転送されます。要件に応じて、システム管理者はこの機能を有効にし、不在転送オプションを設定します。

利用可能な不在転送オプションは次のとおりです。

- 不在転送：すべての着信を別の番号に転送します。
- 話中転送：通話中の場合、着信を別の番号に転送します。
- 不応答転送：指定された時間間隔内に電話に応答しない場合、着信を別の番号に転送します。

電話機ではアクティブなすべての不在転送オプションは同時にサポートされません。不在転送オプションを有効にして、すべての通話を転送するか、話中転送や不応答転送オプションを有効にできます。

拡張不在転送

拡張不在転送機能を使用すると、発信元に応じて着信を異なる番号に転送できます。要件に従ってルールを設定し、内線および外線の着信を転送します。該当する不在転送オプションに、内線および外線の電話番号を入力します。

通話を別の内線番号に転送する

このタスクについて

この手順を使用して、着信通話を該当する内線番号に転送します。

IP Office 環境では、不在転送機能の短縮コードダイヤルを使用します。短縮コードのリストについては、システム管理者にお問い合わせください。

前提条件

管理者がこの機能と使用する不在転送オプションを有効にしていることを確認します。機能ターゲットの選択も有効になっていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [機能] までスクロールして [選択] を押します。
3. [不在転送] 機能を有効にするには、次のオプションのいずれかまでスクロールします。
 - [不在転送]：すべての着信通話を別の番号に転送します。
 - [話中転送]：通話中の場合、着信を別の番号に転送します
 - [不応答転送]：指定された時間間隔内に電話に応答しない場合、着信を別の番号に転送します。

話中転送と不応答転送オプションは、管理者が設定した場合に使用できます。

4. [選択] を押します。
[転送先を選択] ダイアログボックスが表示されます。
5. 次のいずれかを実行して、着信通話を転送する番号を入力します。
 - [ダイヤル] ソフトキーを押してダイヤルパッドを使用し、番号を手動で入力します。
 - [連絡先]、[履歴]、[電話] ボタンを押して、リストから番号を選択します。
 - [ブラウザ] ソフトキーを押して、ブラウザアプリケーションから転送先番号を選択します。

- [自動ダイヤル]、[話中表示]、[チーム] ラインキーを押して、転送先の番号を選択します。

[不在転送] 機能が有効になります。

6. 手動で内線番号をダイヤルする場合は、[Enter] を押して不在転送機能を有効にします。

電話で確認音が鳴り、[機能] 画面に戻ります。

7. (オプション) 機能をキャンセルするには、[キャンセル] ソフトキーを押します。
8. 不在転送オプションを無効にするには、アクティブな [不在転送] オプションに進み、[選択] を押します。

携帯内線をアクティブにする

このタスクについて

この手順を使用して、携帯電話で通話に応答します。

この機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。

前提条件

システム管理者は、携帯電話で着信を受信できるように電話機をプログラミングする必要があります。

手順

1. [メインメニュー] > [機能] を押します。
2. [下矢印] キーを使って [携帯内線] 画面に移動します。
3. [OK] を押します。

第 12 章: 拡張機能

[機能] 画面から電話機で利用可能な拡張機能にアクセスできます。

機能画面にアクセスする

このタスクについて

この手順を使用して、[機能] 画面にアクセスします。

手順

1. [メインメニュー] を押して、[機能] までスクロールします。
2. [選択] を押します。
3. スクロールして、お使いの内線番号に設定された機能を確認します。

ボイスメールへの転送を有効にする

このタスクについて

この手順を使用して、アクティブな通話をボイスメールに転送します。

前提条件

システム管理者は内線の機能を有効にする必要があります。

この機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。

手順

1. 通話中に [メインメニュー] > [機能] を押します。
2. [下矢印] キーを使って [ボイスメールへ転送] 画面に移動します。
3. [選択] または [OK] を押してボイスメールへの転送を有効にします。

通話中の内線番号表示を防ぐ

このタスクについて

この機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。

前提条件

システム管理者によって内線番号のオプションが有効にされていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] > [機能] を押します。
2. [CPN ブロック] を選択します。
3. [宛先] フィールドに、発信先に見られたくない内線番号を入力します。
4. [OK] を押します。

インターコム

管理者が電話に自動インターコムボタンを設定している場合、自動インターコム通話に応答できます。

マルチデバイスアクセス

マルチデバイスアクセス（MDA）機能を使用すると、同じ内線に最大 10 台の SIP デバイスを登録して、デバイス間でアクティブな通話を転送できます。

この機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。マルチデバイスアクセスは Avaya Aura® Session Manager で設定します。

MDA の制限事項

マルチデバイスアクセスアクセスには制限があるため、Avaya J129 IP 電話機 ではサポートされるコールアピランスは 2 つのみとなりますが、ユーザーは 2 つ以上のコールアピランスを設定している場合があります。

マルチデバイスアクセスアクセスの制限は次のようになります。

- 2 つのコールアピランスがすでに使用されている場合、3 番目の着信の音声または着信ランプ表示はありません。
- Avaya J129 IP 電話機 では 3 番目またはそれ以降のコールアピランスは表示されません。
- MDA 通知を受信した場合、[電話] ボタンを押すと詳細を表示しブリッジ通話に参加できます。

マルチデバイスアクセスアクセスを使用して通話と会議を処理する

このタスクについて

Avaya Aura® とマルチデバイスアクセス機能を使用すると、同じ内線番号で最大 10 台のデバイスを設定できます。この内線番号を使用して、デバイス間でアクティブな通話を転送できます。

前提条件

システム管理者によってお使いの内線番号でマルチデバイスアクセス（MDA）機能が有効化されていることを確認します。

手順

1. 電話機から通話を開始します。
2. 通話を他の電話機に転送するには、電話機の [ブリッジ] を押します。

通話に参加している MDA 電話機に異なるシグナルモードアドレスファミリーが設定されている場合、デバイスに限定されたサービスアイコンが一時的に表示される場合があります。通話に参加している MDA 電話機で、アクティブな通話のシグナルモードアドレスファミリーの使用に切り替えると、アイコンが消えます。

関連リンク

[保留なしの会議に参加者を追加する](#) (41 ページ)

マルチキャストページング

マルチキャストページング機能を使用すると、電話で自動的に再生されるページを受信できます。システム管理者によって設定されている場合は、マルチキャストページをネットワーク内の電話のグループに送信できます。

着信マルチキャストページが電話のスピーカーで再生されます。ページが再生されると、転送の間中、[電話] 画面にページ元：<グループ名>という通知が表示されます。

ページを送信できるすべての設定済みマルチキャストグループは、[機能] メニューに表示されます。一般的なカスタマイズ手順により、[電話] 画面からマルチキャストページキーを追加、移動、削除できます。

マルチキャストページより優先度の低いアクティブな通話は保留され、優先度の低い着信はすべて無視されます。

エージェントが通話中で、[応答不可] ステータスになっている、または緊急通話を発信している場合、マルチキャストページは無視されます。

マルチキャストページを送信する

このタスクについて

[電話] 画面でマルチキャストページグループをアクティブにすると、ユーザーのグループにマルチキャストページを送信できます。必要なグループがこの画面に追加されていない場合は、[機能] メニューで電話機に設定されているすべてのマルチキャストページグループにアクセスできます。

手順

1. 以下のいずれかを行います。
 - ハンドセットを持ち上げます。
 - [スピーカー] を押します。
2. [電話] 画面で、必要なマルチキャストページグループまでスクロールして、[選択] を押します。

電話機にページング <グループ名>ボックスが表示されます。
3. マルチキャストページを終了するには、次のいずれかを行います。
 - [通話の終了] を押します。
 - ハンドセットをオーディオデバイスとして使用するには、電話を切ります。

コールパーク/コールパーク解除

このタスクについて

この手順を使用してアクティブな通話を一時保留し、別の内線番号からの通話に応答します。

この機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。

システム管理者は内線の機能を有効にする必要があります。

IP Office 環境では、この機能は短縮コードダイヤルを使用してサポートされます。短縮コードのリストについては、システム管理者にお問い合わせください。

手順

1. 通話中に、[メインメニュー] > [機能] を押します。
2. [下矢印] キーを使って [コールパーク] 画面に移動します。
3. [選択] または [OK] を押します。

電話機は通話を一時保留します。
4. 一時保留中の通話に応答するには、[メインメニュー] > [機能] を押します。
5. [下矢印] キーを使って [通話のパーク解除] 画面に移動します。
6. [選択] または [OK] を押します。
7. コールがパークされたときの内線番号を入力します。
8. [OK] を押します。

電話機は通話の一時保留を解除します。

仲介転送の実行

このタスクについて

仲介転送とは、通話を転送する前にアクティブな通話を保留し、通話転送の着信者と 2 番目の通話を確立することを指します。

手順

1. 以下のいずれかを行います。
 - キーパッドを使用して、通話の転送先の番号をダイヤルします。
 - [連絡先] リストまたは [履歴] リストから相手に電話をかけます。

最初の通話が保留され、参加者の電話機の着信音が鳴り始めます。

2. 受信者が通話に応答したら [完了] ソフトキーを押します。

選択された番号に通話が転送されます。

ブラインド転送の実行

このタスクについて

ブラインド転送とは、通話転送の着信者との通話を確立せずにアクティブな通話を転送することを指します。

手順

1. 以下のいずれかを行います。
 - キーパッドを使用して、通話の転送先の番号をダイヤルします。
 - [連絡先] リストまたは [履歴] リストから相手に電話をかけます。

最初の通話が保留され、参加者の電話機の着信音が鳴り始めます。

2. 転送を完了するには、[完了] ソフトキーを押します。

選択された番号に通話が転送されます。

転送先が通話に応答しないと、未応答の通話は、リコール転送通話として転送元の電話機に戻されます。

自動コールバックを設定する

このタスクについて

内線番号が話中の場合は、この手順を使用して、内線番号の通話が終了したときに自動的にコールバックを受信できるようにします。

IP Office 環境では、この機能は短縮コードダイヤルを使用してサポートされます。短縮コードのリストについては、システム管理者にお問い合わせください。

前提条件

システム管理者は内線の機能を有効にする必要があります。

手順

1. 相手への発信中にその回線が通話中の場合は、[メインメニュー] > [機能] を押します。
2. [下矢印] キーを使って [自動コールバック] 画面に移動します。
3. [選択] または [OK] を押して [自動コールバック] を有効にします。

コールバック通話を終了すると機能は自動的に解除されます。

共有コントロール

共有コントロール機能を使用すると、Avaya Workplace クライアント から電話を操作し、電話で高音質のオーディオを利用できます。共有コントロール機能はすべての Avaya J100 シリーズ IP 電話機 モデルでサポートされています。

電話が Avaya Aura® に登録され、共有コントロール接続が確立されている必要があります。電話機と共有コントロールモードの Avaya Workplace クライアント にログインしている場合は、Avaya Workplace クライアント を通じて電話機を制御できます。クライアントの実装によっては、同じユーザーに複数のデバイスが登録されている場合、共有コントロールセッションが確立されないことがあります。

システム管理者が共有コントロール機能をアクティブにし、Avaya Workplace クライアント で設定します。

★ 注

この機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。

Avaya J100 シリーズ IP 電話機 では次のタスクを実行できます。

- 発信する
- 通話への応答
- 通話の保留と再開
- 通話のミュート/ミュート解除
- 通話転送
- 会議

通知

電話が Avaya Workplace クライアント から設定または切断されると、[電話] 画面に次のメッセージが表示されます。

- 共有コントロール起動
- 共有コントロール停止

Avaya Workplace クライアント のインストールと設定の詳細については、「*Planning for and Administering Avaya Workplace クライアント for Android, iOS, Mac, and Windows*」および「*Using Android 用 Avaya Workplace クライアント, iOS, Mac, and Windows*」(<https://support.avaya.com/>) を参照してください。

悪意のある通話を追跡する

このタスクについて

この手順を使用して悪意のある通話の追跡を有効にし、悪意のある通話に関する情報を表示します。この機能は、管理者が電話システムに悪意のある通話の追跡を設定し、着信者または操作者が追跡を管理できるときのみ利用することができます。この機能は、Avaya Aura® 環境でのみ使用できます。

前提条件

システム管理者は内線の機能を有効にする必要があります。

手順

1. 通話中に [メインメニュー] > [機能] を押します。
2. [下矢印] キーを使って [MCT 起動] 画面に移動します。
3. [OK] を押します。

アラート音または点滅するビーコン LED は、トレースがアクティブであることを示します。電話を切ることで [MCT 起動] が解除されます。

ボイスメール

Avaya Messaging などのボイスメッセージングサービスでは、電話のボイスメール機能を使用できます。システム管理者はボイスメール機能を有効にし、ボイスメール番号とパスワードを設定します。ボイスメールを受信すると、電話のビーコン LED が点灯します。メッセージを聞いたら、ボイスメールで要求された操作を実行します。

ボイスメッセージングサービスで Web インターフェイス機能が提供されている場合は、コンピュータでボイスメールにアクセスできます。ボイスメールの Web インターフェイス機能の詳細については、システム管理者にお問い合わせください。

ボイスメールを聞く

このタスクについて

この手順を使用して、電話のボイスメールを聞きます。

前提条件

- システム管理者によって内線番号のボイスメールが設定されていることを確認します。
- システム管理者からボイスメールのユーザー ID とパスワードを取得します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [下矢印] キーを使って [ボイスメール] 画面に移動します。
3. [選択] を押します。
4. 音声プロンプトに従ってボイスメッセージを再生します。

第 13 章: 電話のカスタマイズ

電話

ダイヤルモードを設定する

このタスクについて

この手順を使用して、ダイヤルの発信に使用するダイヤル方法を設定します。

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [電話設定] を押します。
2. [下矢印] キーを使って [ダイヤルモード] 画面に移動します。
3. [切り替え] を押して次のいずれかを選択します。
 - [手動]: [通話] ソフトキーを押して通話を開始します。
 - [自動]: 通話を開始するには、ダイヤルした番号がダイヤルプランと一致する必要があります。
 - [デフォルト]: [通話] ソフトキーを押して通話を開始します。
4. [保存] を押します。

通話時間を表示する

このタスクについて

この手順を使用して、通話時間を表示します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [電話設定] までスクロールし、[選択] を押します。
4. [下矢印] キーを使って [通話時間を表示] に移動します。
5. [切り替え] を押して通話時間を有効/無効にします。
6. [保存] を押します。

スピードダイヤルを割り当てる

このタスクについて

この手順を使用して、スピードダイヤル番号を連絡先に割り当てます。スピードダイヤルは9件まで割り当てることができます。

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [電話設定] を押します。
2. [スピードダイヤル] を選択します。
3. [上] および [下矢印] キーで、スピードダイヤル番号を選択します。
4. [連絡先] を押して、連絡先を選択します。
5. [選択] を押して、選択したスピードダイヤル番号に連絡先を割り当てます。
1 件のスピードダイヤル番号に割り当てられる連絡先は 1 つのみです。

スピードダイヤルの連絡先を置換/削除する

このタスクについて

この手順を使用して、スピードダイヤルの連絡先を置換または削除します。

前提条件

連絡先をスピードダイヤルの番号に割り当てます。

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [電話設定] を押します。
2. [スピードダイヤル] を選択します。
3. [下矢印] キーを使って、置換または削除するスピードダイヤルの連絡先に移動します。
4. 以下のいずれかを押します。
 - [置換] : 連絡先を別の連絡先と置き換えます。
 - [クリア] : スピードダイヤルから連絡先を削除します。
5. 電話機に確認のメッセージが表示されたら [置換] または [クリア] を押します。

ミュート通知を起動する

このタスクについて

この手順を使用して、電話機がミュート状態のときに声を出すと、電話機に通知が表示されるように設定します。

前提条件

システム管理者によって内線番号のオプションが有効にされていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [電話設定] を押します。
2. [下矢印] キーを使って [ミュート通知] 画面に移動します。

3. [切り替え] を押して次のいずれかを選択します。

- [音声] : 通話のミュート時に声を出すと、8 秒後に電話機がビープ音を鳴らしてミュート状態であることを知らせます。
- [着信ランプ] : 通話のミュート時に 8 秒後に声を出すと、電話機に [ミュート中の通話] アイコンが表示されます。

★ 注

ミュート通知がオンのときにユーザーが声を出すのを止めると、500 ミリ秒後に通話がミュート状態のアイコンが通常のアクティブな通話のアイコンに置き換わります。

- [両方] : 音声と着信ランプ表示の両方のアクションを併用します。
- [なし] : 電話機のミュート通知を無効にします。

4. [保存] を押します。

通話をミュート解除すると、ミュート通知は自動的にオフになります。

着信ランプ表示

ビーコン LED は以下の方法で着信および受信メッセージを知らせます。

- 着信があると、ビーコン LED が点滅します。
- 新しいボイスメールメッセージがある場合、ビーコン LED が点灯したままの状態になります。
- 通話中にスピーカーがオンになっていて、新しいボイスメールメッセージがある場合、ビーコン LED は 15 秒間隔でオフに切り替わります。
- 通話が保留されると、ビーコン LED は点滅を停止します。

通話がスピーカーで行われる場合、スピーカーアイコン () がアクティブな通話のハンドセット () アイコンと置き換わります。

関連リンク

[着信ランプ表示を設定する](#) (57 ページ)

着信ランプ表示を設定する

このタスクについて

電話に着信およびメッセージがある場合、ビーコン LED が点灯します。この手順を使用して、着信ランプ表示を有効にします。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [設定] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [電話設定] までスクロールし、[選択] を押します。
4. [通話のアラート] までスクロールして、[選択] を押します。
5. [ビーコン LED] までスクロールします。

6. [切り替え] を押して、着信ランプ表示を有効/無効にします。
7. [保存] を押します。

関連リンク

[着信ランプ表示](#) (57 ページ)

音声

着信通話の着信音を設定する

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [オーディオ設定] を押します。
2. [着信音をカスタマイズ] を選択します
3. [下矢印] キーを使って [着信音タイプ] を選択します。
4. [選択] を押して必要な着信音を選択します。
5. [保存] を押します。

ボタンのクリック音をオン/オフにする

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [オーディオ設定] を押します。
2. [キーのプッシュ音] までスクロールし [切り替え] を押して、音声をオン/オフにします。
3. [保存] を押します。

エラートーンをオン/オフにする

このタスクについて

電話の使用中に間違ったアクションを実行した場合のエラートーンアラームをアクティブにできます。

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [オーディオ設定] を押します。
2. エラートーンのオン/オフを切り替えるには、[エラートーン] までスクロールし、[切り替え] を押します。
3. [保存] を押します。

音声設定をオン/オフにする

このタスクについて

自動ゲイン制御（AGC）は、発信者の声が小さい場合に音量を上げ、発信者の声が大きい場合に音量を下げます。この手順を使用して、ヘッドセットとスピーカーで個別に AGC をオン/オフにします。

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [オーディオ設定] を押します。
2. [AGC] を選択します。
3. [上] および [下矢印] キーを使用して、AGC をオンまたはオフにするハンドセットまたはスピーカーを選択します。
4. [選択] を押してヘッドセットまたはスピーカーをオンにします。
5. [保存] を押します。

ハンドセットプロファイルの設定

このタスクについて

このタスクは、聴覚障害のある方に関連します。この手順を使用して、電話機のオーディオ特性を変更します。

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [オーディオ設定] を押します。
2. [ハンドセットプロファイル] を選択します。
電話機に次が表示されます。
 - [デフォルト]
 - [標準]
 - [増幅]: 通常のオーディオレベルを超えて最大音量を拡張します。最大音量設定を長い時間使用すると耳を損傷する可能性があるため、このオプションを使用する際は注意が必要です。
 - [聴覚補助]: 聴力補助の音質を最適化します。
3. [選択] を押して、いずれかのオプションを選択します。
4. [保存] を押します。

ハンドセットのサイドトーン

サイドトーンは、電話のハンドセットを使用して話すときにフィードバックとして聞こえる周辺ノイズです。このフィードバックノイズのレベルを調整するには、システム管理者に連絡してください。

表示

表示画面のコントラストを調整する

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [表示設定] を押します。
2. [コントラスト] までスクロールします。
3. [選択] を押します。
4. 以下のいずれかを押します。
 - [右矢印] キー：コントラストを強めます。
 - [左矢印] キー：コントラストを弱めます。
5. [保存] を押します。

表示言語を設定する

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [表示設定] を押します。
2. [言語] を選択します。
3. 言語までスクロールして、次のいずれかを押します。
 - [選択]
 - [OK]電話機に確認メッセージが表示されます。
4. 以下のいずれかを押します。
 - [はい]
 - [OK]電話機の画面が [表示設定] に戻り、選択した言語に変更されます。

日付フォーマットを設定する

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [表示設定] を押します。
2. [日付形式] 画面に移動するには、[下矢印] キーを使用します。
電話機に次のいずれかが表示されます。
 - [デフォルト]
 - [mm/dd]
 - [dd/mm]
 - [mm.dd]

- [dd.mm]
- [mm-dd]
- [dd-mm]
- [mmm dd]

3. いずれかのオプションを選択するには、[切り替え] を押します。
4. [保存] を押します。

時刻フォーマットを設定する

前提条件

管理者がお使いの電話でこの時刻形式機能を有効にしていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [表示設定] を押します。
2. [下矢印] キーを使って [時刻フォーマット] 画面に移動します。
3. [切り替え] を押して、次のオプションのいずれかを選択します。
 - [24 時間時刻形式]
 - [12 時間時刻形式]
4. [保存] を押します。

タイムゾーンの を設定する

このタスクについて

この手順を使用して、電話機の現在の時刻を設定します。

手順

1. [メインメニュー] > [設定] > [表示設定] を押します。
2. [タイムゾーン] までスクロールして、[選択] を押します。
3. 正しい時刻を設定するには、以下のいずれかを行います。
 - [左矢印] / [右矢印] キーを使用します。
 - [-] または [+] ソフトキーを押します。
4. [保存] を押します。

バックアップとリストア

バックアップとリストアの概要

この電話機では、次のユーザー固有のデータのバックアップとリストアをサポートしています。

- ユーザー連絡先
- ローカル着信音タイプ
- ローカルの応答不可ステータス
- ローカル不在転送設定
- 自動応答モード設定
- スピードダイヤル設定
- 言語
- タイムゾーンと時刻フォーマット
- 日付形式
- カスタマイズされた電話キーラベル

バックアッププロセスは、ユーザー固有のデータを取得できた場合にのみ開始されます。

データをバックアップ/リストアする

前提条件

システム管理者がバックアップおよびリストア用の URI を設定していることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] > [設定] の順に押します。
2. [下矢印] キーを使用して [バックアップ/リストア] 画面に移動します。
3. [選択] を押します。
4. もう一度 [選択] を押して、次のいずれかを選択します。
 - [手動バックアップ]
 - [手動リストア]

電話機に次のメッセージが表示され、前の画面に戻ります。

- [手動バックアップ] が正常に実行されない場合：バックアップ失敗
- [手動バックアップ] が正常に実行された場合：バックアップ完了
- [手動リストア] が正常に実行されない場合：取得失敗
- [手動リストア] が正常に実行された場合：取得成功

第 14 章: 電話の更新

電話機を更新する

前提条件

電話機で更新の準備ができている場合は、管理者の設定に応じて、電話画面に電話機の再起動の確認を求めるプロンプトが表示されます。電話機を更新するか更新をキャンセルするかを選択できます。キャンセルすると、電話機は管理者が設定した次の更新サイクルで再びプロンプトを表示します。

前提条件

電話機の再起動を確認するためのアクセス権が管理者から与えられていることを確認します。

手順

1. 電話機のポップアップ画面に新しいファームウェアを利用できます。電話を再起動して変更を適用しますか？と表示されます。
2. [再起動] を押します。

電話機の定期自動更新を確認する

このタスクについて

システム管理者が電話機が自動更新されるように設定します。この手順を使用して、電話機の更新のスケジュールや頻度を確認します。

前提条件

管理者が定期自動更新機能を有効にしていることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [ネットワーク情報] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [自動更新] までスクロールして、[選択] を押します。
[自動更新] 画面に次が表示されます。
 - [自動更新ポリシー]：管理者が設定した電話の更新頻度を表示します。
 - [最終更新]：電話の最終更新日時を表示します。
 - [次の更新]：電話の次の更新日時を表示します。

第 15 章: メンテナンス

製品 ID を表示する

このタスクについて

製品 ID 情報は、電話機の背面パネルのラベルに記載されています。また、電話画面で製品 ID を表示して確認することもできます。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [ネットワーク情報] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [システム] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [製品 ID] までスクロールします。

デバイスタイプを表示する

このタスクについて

システム管理者からデバイスタイプ情報の提供を求められたら、デバイスタイプを表示します。デバイスタイプは Avaya SIP または Open SIP にできます。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [ネットワーク情報] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [システム] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [デバイスタイプ] までスクロールします。

セカンダリプロビジョニングサーバーアドレスを表示する

このタスクについて

システム管理者からサーバーの詳細の入力を求められた場合は、セカンダリプロビジョニングサーバーアドレスを表示します。電話管理者は、セカンダリプロビジョニングサーバーを設定して、追加の電話設定を指定できます。

前提条件

管理者が電話にセカンダリプロビジョニングサーバーを設定していることを確認します。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [ネットワーク情報] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [IP パラメータ] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [カスタム URL] までスクロールします。

[カスタム URL] フィールドにセカンダリプロビジョニングサーバーの URL が表示されます。

サーバータイプを表示する

このタスクについて

システム管理者からサーバータイプ情報の提供を求められたら、サーバータイプを表示します。サーバータイプは Avaya Aura[®] または Open SIP のいずれかにできます。

手順

1. [メインメニュー] を押します。
2. [ネットワーク情報] までスクロールして、[選択] を押します。
3. [システム] までスクロールして、[選択] を押します。
4. [サーバータイプ] までスクロールします。

第 16 章: リソース

ドキュメント

以下の関連ドキュメントについては、<http://support.avaya.com> を参照してください。

タイトル	ドキュメントの使用目的	対象ユーザー
概要		
<i>Avaya Aura® Session Manager Overview and Specification</i>	Avaya Aura® Session Manager に関する機能説明、相互運用性、性能仕様、セキュリティ、ライセンスングの要件などの特性や機能の確認。	Avaya Aura® Session Manager の特徴、機能、容量、制限に関する詳細な知識を必要とするユーザー。
<i>Avaya Aura® Communication Manager Feature Description and Implementation</i>	Avaya Aura® Communication Manager に関する機能説明、相互運用性、性能仕様、セキュリティ、ライセンスングの要件などの特性や機能の確認。	Avaya Aura® Communication Manager の特徴、機能、容量、制限に関する詳細な知識を必要とするユーザー。
Avaya IP Office™ Platform Feature Description	機能説明についての情報の確認。	システム管理タスクを実行するユーザー。
Avaya IP Office™ Platform Solution Description	このソリューションと相互作用する製品およびサービスについての情報の確認。	IP Office の特徴、機能、容量、制限に関する詳細な知識を必要とするユーザー。
実装		
<i>Deploying Avaya Aura® Session Manager</i>	Avaya Aura® Session Manager のインストール手順と初期管理情報の確認。	Avaya Aura® Session Manager を Avaya Aura® System Platform にインストール、設定、検証するユーザー。
<i>Upgrading Avaya Aura® Session Manager</i>	アップグレードのチェックリストと手順の確認。	Avaya Aura® Session Manager のアップグレードを行うユーザー。

次のページに続く...

タイトル	ドキュメントの使用目的	対象ユーザー
<i>Deploying Avaya Aura® System Manager on System Platform</i>	Avaya Aura® System Manager のインストール手順と初期管理情報の確認。	カスタマーサイトで Avaya Aura® System Manager を Avaya Aura® System Platform にインストール、設定、検証するユーザー。
IP Office SIP Telephone Installation Notes	IP Office SIP 電話機の設置手順と初期管理情報の確認。	SIP 電話機を IP Office に設置、設定、検証するユーザー。
管理		
<i>Administering Avaya Aura® Session Manager</i>	管理ツールの使用方法、データとセキュリティの管理方法、定期メンテナンスタスクの実行方法など、Avaya Aura® Session Manager の管理タスクを実行する方法についての情報の確認。	Avaya Aura® Session Manager システム管理タスクを実行するユーザー。
<i>Administering Avaya Aura® System Manager</i>	管理ツールの使用方法、データとセキュリティの管理方法、定期メンテナンスタスクの実行方法など、Avaya Aura® System Manager の管理タスクを実行する方法についての情報の確認。	Avaya Aura® System Manager の管理タスクを実行するユーザー。
Administering Avaya IP Office™ Platform with Manager	機能リストの短縮コード設定についての情報の確認。	短縮コードを使って IP Office の機能にアクセスする必要があるユーザー。
Administering Avaya IP Office™ Platform with Web Manager	管理ツールの使用方法、データとセキュリティの管理方法、メンテナンスタスクの実行方法など、IP Office Web Manager の管理タスクを実行する方法についての情報の確認。	IP Office Web Manager の管理タスクを実行するユーザー。
メンテナンス		
<i>Maintaining Avaya Aura® Session Manager</i>	Avaya Aura® Session Manager のメンテナンスタスクに関する情報の確認。	Avaya Aura® Session Manager のメンテナンスを行うユーザー。
<i>Troubleshooting Avaya Aura® Session Manager</i>	Avaya Aura® Session Manager のトラブルシューティング、アラームの解決、ハードウェアの置換、アラームコード、イベント ID の説明に関する情報の確認。	Avaya Aura® Session Manager のトラブルシューティングを行うユーザー。
Using IP Office System Status	System Status Application のメンテナンスタスクに関する情報の確認。	System Status Application のメンテナンスを行うユーザー。
Using IP Office System Monitor	SysMonitor のメンテナンスタスクに関する情報の確認。	SysMonitor のメンテナンスを行うユーザー。

Avaya サポート Web サイトでドキュメントを検索

手順

1. <https://support.avaya.com> に進みます。
2. ログインするには、画面上部の [Sign In] をクリックし、プロンプトが表示されたらログイン資格情報を入力します。
3. [Product Support] > [Documents] をクリックします。
4. [Search Product] に製品名を入力し、対象製品を表示されたリストから選択します。
5. [Select Release] で、適切なリリース番号を選択します。

製品のリリースが 1 つしかない場合、このフィールドは使用できません。

6. (オプション) [キーワードを入力] に、検索するキーワードを入力します。
7. [Select Content Type] リストから、1 つ以上のコンテンツタイプを選択します。
例えば、ユーザーガイドのみを表示する場合は、[Select Content Type] リストで [User Guides] をクリックします。
8.  をクリックすると検索結果が表示されます。

Avaya ドキュメントセンターのナビゲーション

多数のプログラムでは、最新のカスタマー向けドキュメントを Avaya ドキュメントセンター Web サイト (<https://documentation.avaya.com>) から入手できます。一部の機能は、Avaya ドキュメントセンターにログインしている場合にのみ使用できます。使用可能な機能は役割によって異なります。

! 重要

探しているドキュメントが Avaya ドキュメントセンターで見つからない場合は、[Avaya サポート Web サイト](#)で見つけることができます。

ドキュメントセンター内を移動している間、画面上部の [Avaya ドキュメントセンター] のロゴをクリックすると、いつでもホームページに戻ることができます。Avaya ドキュメントセンターページで、次を実行できます。

- 上部メニューバーで [Avaya リンク] をクリックすると、Avaya サポート Web サイトなど、他の Avaya の Web サイトにアクセスできます。
- 上部メニューバーの [言語] (🌐) をクリックすると、表示言語を変更し、ローカライズされたドキュメントを表示できます。
- [ドキュメントを検索] フィールドで、キーワードで検索し [フィルタ] をクリックすると、ソリューションカテゴリ、製品、ユーザーの役割でフィルタできます。
各フィルタカテゴリで複数の項目を選択できます。例えば、製品と複数のユーザーの役割を選択できます。
- 上部メニューバーで [ライブラリ] をクリックすると、ドキュメントの完全なライブラリにアクセスできます。フィルタオプションを使用して結果を絞り込みます。
- 検索を実行したり、ライブラリにアクセスした後、検索結果ページでコンテンツを並べ替えることができます。表示する項目を見つけたら、クリックして開きます。

- ドキュメントの目次を使用して、移動できます。ドキュメントタイトルの横にある [<] または [>] をクリックして、前のトピックや次のトピックに移動することもできます。
- [共有] (🔗) をクリックすると、電子メールでトピックを共有するか、URL をコピーできます。
- ドキュメントの現在のトピックの PDF、トピックとそのサブトピック、ドキュメント全体をダウンロードします。
- 表示しているセクションを印刷します。
- [コレクションに追加] (📁) をクリックしてコレクションにコンテンツを追加できます。トピックとそのサブトピックを追加したり、公開情報全体を追加したりできます。
- コレクションのトピックを表示します。コレクションにアクセスするには、上部メニューバーで自分の名前をクリックして [コレクション] をクリックします。

次を実行できます。

- コレクションを作成、名前変更、削除する。
 - コレクションをデフォルトまたはお気に入りのコレクションとして設定する。
 - 選択したコンテンツの PDF をコレクションに保存し、コンピュータにダウンロードする。
 - 電子メールで他のユーザーとコレクションのコンテンツを共有する。
 - 他のユーザーと共有したコレクションを受信する。
 - [ウォッチ] (👁) をクリックして、トピックをウォッチリストに追加すると、コンテンツが更新または削除された場合に通知されます。
 - ウォッチリストを表示および管理するには、上部メニューから [ウォッチリスト] をクリックします。
- 次を実行できます。
- [電子メール通知] を有効にして電子メールアラートを受信する。
 - 選択したコンテンツまたはすべてのトピックのウォッチを解除する。
 - トピックのフィードバックを送信します。

Avaya Mentor ビデオを表示する

Avaya Mentor Videos は、Avaya 製品のインストール、設定、およびトラブルシューティングの方法に関する技術的な内容を提供します。

このタスクについて

ビデオは、Avaya サポート Web サイトでビデオドキュメントタイプの下に表示される一覧から、および Avaya が運営する YouTube チャンネルで入手できます。

- Avaya サポート Web サイトでビデオを検索するには、<https://support.avaya.com/> にアクセスして、次の操作のいずれかを実行します。
 - [Search] に、「Avaya Mentor Videos」と入力し、[すべてクリア] をクリックし [Video] の [Select Content Type] を選択します。
 - [Search] で、製品名を入力します。[Search Results] ページで、[すべてクリア] をクリックし [Video] の [Select Content Type] を選択します。

[Video] コンテンツタイプは、その製品でビデオが利用できる場合にのみ表示されません。

ページの右側のペインに、利用可能なビデオのリストが表示されます。

- Avaya Mentor ビデオを YouTube で検索するには、www.youtube.com/AvayaMentor にアクセスして、次の操作のいずれかを実行します。
 - [チャンネルを検索] にキーワード（複数可）を入力して、特定の製品やトピックを検索します。
 - [再生リスト] までスクロールし、トピックの名前をクリックすると、利用可能なビデオのリストが表示されます。（コンタクトセンターなど）。

★ 注

ビデオはすべての製品に提供されているわけではありません。

サポート

最新のドキュメント、製品に関する通知、ナレッジ記事を入手するには、Avaya サポート Web サイト (<https://support.avaya.com>) にアクセスしてください。リリースノート、ダウンロード、および問題の解決も検索できます。オンラインサービス要求システムを使用して、サービス要求を作成します。ライブエージェントとチャットをして問題の解決を入手するか、問題がさらに専門知識を必要とする場合はサポートチームに接続してもらうようにエージェントに要求します。

索引

A

自動ゲイン制御	
音声設定	59
設定する	59
Avaya サポート Web サイト	70

あ

アイコン	22
------------	--------------------

い

インターコム	
自動インターコム	49

う

ウォッチリスト	68
---------------	--------------------

え

エラートーン	
オフにする	58
オンにする	58

お

応答不可	
応答不可	45
離席	45
オーディオ	
フィードバック	59
オフフックアラート	44
音声設定	
自動ゲイン制御	59
エラートーン	58
設定する	58 , 59
着信音タイプ	58
ハンドセットプロファイル	59
ボタンのクリック	58

か

会議通話	
設定	40
通話を保留にする	41
保留中の相手を追加	40
会議、保留なしの会議を使用して参加者を追加する	41
概要	44
機能仕様	9
不在転送	45
物理仕様	9
管理方法	

管理方法 (続き)

ファイルサーバーアドレス	15
プロビジョニングサーバー	15
関連ドキュメント	66

き

機能

悪意のある通話の追跡	54
機能にアクセスする	48
自動コールバック	52
詳細	48
不在転送	46
ボイスメールに転送 :	48
マルチデバイスアクセス	49
共有コントロールモード	53
切り替える	
通話	30
保留	30
緊急通話	17
緊急	32
ステータス画面	32
ダイヤルパッド	32
ロック画面	32

け

検索

コンタクト	35
名	35
検索中	
エンタープライズディレクトリ	35
企業データベース	31
ローカル	35

こ

更新

電話	63
----------	--------------------

コール

履歴	31
----------	--------------------

コレクション

PDF の生成	68
コンテンツの共有	68
削除	68
編集	68

コンタクト

検索中	31 , 35
削除する	36
新規連絡先	34
スピードダイヤル	30 , 56
姓	35
追加する	34
通話履歴から連絡先を削除する	39
通話履歴から連絡先を追加する	39

コンタクト (続き)	
編集する	34
コンテンツ	
PDF 出力の公開	68
アップデートの監視	68
共有する	68
検索中	68
最終更新日で並べ替え	68
コンテンツの共有	68
コンテンツの検索	68

さ

再開	
通話	43
サイドトーン	
周辺ノイズ	59
削除する	
連絡先を削除する	35
サーバー	
Avaya Aura	65
Open SIP	65
サポート	70
サポートされている機能	13

し

識別	
デバイスタイプ	16
自動更新	
設定を更新する	63
電話機のファームウェア	63
自動コールバック	
通話	52
詳細	
コンタクト	35

す

スピードダイヤル	
コンタクト	56
連絡先を削除する	56
連絡先を置換する	56

せ

製品 ID	
電話	64
セカンダリプロビジョニングサーバーアドレス	64
セキュリティ	
WEP、WPA/WPA2 PSK、802.1x EAP	20
接続する	
Wi-Fi	20
Wi-Fi の非表示	20
設定する	
自動ゲイン制御	59
音声設定	58 , 59
言語	60
時刻表示形式	61

設定する (続き)	
タイムゾーン	61
着信音タイプ	58
着信ランプ表示	57
通話時間	55
通話履歴	38
日付形式	60
表示設定	60
履歴を記録	38

た

タイムゾーン	
設定する	61
表示設定	61
ダイヤルモード	
自動ダイヤル	55
手動ダイヤル	55

ち

着信音タイプ	
音声設定	58
設定する	58
着信通話	25
応答不可	45
音声通知	25
携帯内線	47
着信通知	25
不在転送を有効にする	46
離席	45
着信通話のブロック	17

つ

追加する	
コンタクト	34
通話	
E.164 ダイヤル	32
MCT	54
MWI	57
切り替える	30
国際	32
コールパーク	51
コールパーク解除	51
再開	43
自動コールバック	52
スピードダイヤル	30
着信通話	25 , 26
着信ランプ表示	57
仲介転送	52
通話のミュート	43
通話のミュート解除	43
通話を転送する	27
電話機の切り替え	50
ビーコン LED	57
保留	43
マルチデバイスアクセス	50

通話 (続き)		ネットワークモードを設定する (続き)	
ミュート通知	56	イーサネット	18
無視	27		
連絡先を編集する	35	は	
通話転送		背面パネル	11
仲介	52	バックアップする	
ブラインド	52	手動バックアップ	62
通話に応答する		手動リストア	62
別の通話中	26	発信する	
通話履歴		企業データベースリスト	31
通話履歴を削除する	39	緊急通話	32
表示する	38	自動	29
連絡先を追加する	39	手動	29
通話を転送する		ダイヤルパッド	30 , 31
着信通話	27	ダイヤルモード	29
発信通話	27	ダイヤルモードを使用する	29
て		メインメニュー	30
定期更新		履歴	31
電話機のファームウェア	63	ローカルの連絡先リスト	30
ディスプレイのコントラスト	60	発信通話	
デバイスタイプ		国際	32
Avaya SIP	64	内線番号表示のブロック	49
Open SIP	64	番号をリダイヤルする	29
電話		ハンドセットプロファイル	
インバウンド	25	音声設定	59
起動	16	増幅	59
通話	25	聴覚補助	59
ログアウト	17	デフォルト	59
電話設定		標準	59
着信ランプ表示	57	ひ	
通話時間	55	ビデオ	69
通話履歴	38	表示する	
履歴を記録	38	製品 ID	64
電話の内線番号にログインする	16	表示設定	
電話のロック		言語	60
手動ロック	17	時刻表示形式	61
ロック解除	18	タイムゾーン	61
と		日付形式	60
ドキュメントセンター	68	ふ	
コンテンツを見つける	68	不在着信	
ナビゲーション	68	詳細を表示する	26
ドキュメントセンターでコンテンツを見つける	68	不在転送	
ドキュメントの並べ替え	68	話中転送	45
ドキュメントポータル	68	不応答転送	45
ね		無効	46
ネットワーク設定		有効	46
設定	19	不参加転送	52
モード	18	物理レイアウト	
ネットワークへの接続		前面	10
自動	19	ブラインド転送	52
手動	19	プロビジョニングサーバーの設定	
ネットワークモードを設定する		ファイルサーバーアドレス	15
Wi-Fi	18	プロビジョニングサーバー	15

へ

編集する	
コンタクト	34
ローカルの連絡先の詳細	35

ほ

ボイスメール	
ビーコン LED	54
ボイスメッセージ	54
ボイスメール	54
ボイスメールユーザー ID	54
ボタンクリック	
オフにする	58
オンにする	58
ホットライン	49
保留	
会議通話を保留にする	41
切り替える	30
保留なしの会議	41
保留なしの会議、参加者を追加する	41
保留ボタン	
通話の再開	43

ま

マルチキャストページング	
概要	50
マルチキャストページを送信する	50
マルチデバイスアクセス	
会議の処理	50
制限	49
通話の処理	50

み

ミュート	
ミュート通知	56
ミュート通知	
通話	56

む

無視	
着信通話	27

め

メインメニュー	22
機能	48
言語	60
メッセージ	
着信ランプ表示	57

ゆ

ユーザーデータ	
バックアップ	62

ユーザーデータ (続き)

バックアップする	62
復元する	62
リストア	62

り

離席	
応答不可	45
履歴	
詳細を表示する	38
すべてクリア	39
全エントリのクリア	39
通話履歴	37
通話履歴を削除する	39
通話ログ	37
発信する	31
不在着信	26
連絡先を追加する	39

ろ

ローカルの連絡先	
詳細	35
ログ	
暗号化	37
通話	37
ロック	
ロック解除	17
PIN のロック解除	
パスワード	18